

# 芸劇BUZZ

TOKYO METROPOLITAN THEATRE EVENT INFORMATION

vol.6 2014  
**1.2.3.**



**特集・PICKUP**

作 野田秀樹

「障子の国のティンカーベル」

作 ジャン・コクトー

「おそろべき親たち」

芸劇eyes

ニッポンの河川「大きなものを破壊命令」

サンプル「シフト」

勅使川原三郎U18ダンスワークショップ

「今、何してるの?」

芸劇+トーク

朗読「東京」

芸劇+トーク

「自作自演」

クラシカル・プレイヤーズ東京

なんでも! クラシック 2014

シアターオペラ

「こうもり」

音大フェスティバル・オーケストラ

0才から聴こう!!

春休みふれあいコンサート

**CALENDAR**

1月・2月・3月

**REPORT**

芸劇eyes 番外編 第2弾

「God Save the Queen」

「エル・システム・フェスティバル2013  
in TOKYO」

読者プレゼント ほか

東京芸術劇場 芸術監督

**野田秀樹 座談会** キャサリン・ハンター&グリーン・プリチャード&マルチェロ・マーニ 第2弾



女優一人芝居×ダブルキャスト  
障子の国のティンカーベル  
TINKERBELL IN SHOJI LAND

若き野田秀樹が書いた  
幻の一人芝居が、今、新たに甦る！

妖精ティンカーベルが、世界を巡って物語るピーターとの“人でなし”の恋物語。  
野田秀樹とゆかりの深い演出家・俳優マルチェロ・マーニが演出し、  
実力派・異世代女優、穂谷友子・奥村佳恵が演じ切る。  
2バージョンでの連続上演！



左から) 奥村佳恵、マルチェロ・マーニ(演出)、穂谷友子

本企画は、次々と傑作を世に送りだす野田秀樹の脚本を、野田秀樹以外の演出家によって新たに作品化するという試み。今回、演出家として腕を振るうのは、野田秀樹とゆかりの深い俳優であり、演出家でもあるマルチェロ・マーニ。彼は、サイモン・マクパーニーらとテアトル・ド・コンプリシテを創立したメンバーでもあり、ピーター・ブルックやロバート・ルバージュら、数々の世界的演出家と協働作業をしてきた経験豊かな人だ。また、野田作品『赤鬼』、英国版『THE BEE』にも出演し、パートナーであるキャサリン・ハンター共々、野田の重要なアーティストック・パートナーでもある。

すでに一昨年から、彼は、作者である野田秀樹はもちろん、プロデュースを手掛ける劇場スタッフらと共に構想を練り、東京でのワークショップを経て今回のキャストを決定した。今夏には再度、出演が決まった女優の穂谷友子、奥村佳恵と、さらには舞台美術や衣装デザイナー、スタッフ陣ともワークショップを行い、作品制作の準備は整いつつある。2014年1月には、再度マルチェロが来日し、最終リハーサルを経て、いよいよ2014年2月、東京芸術劇場シアター・イーストにて、幻の野田作品が新たによみがえる。

演出家のマルチェロはこう語る。「今回は、ふたりの違う個性を有した女優さんと、似て非なるふたつの作品世界を紡いでいくつもりなんだ。ひとつの作品は、穂谷友子という、経験豊富で演技力も申し分のない女優と、そしてもう一つの作品は、若くてイノセントな魅力に溢れた奥村佳恵という女優とね。ひとつの脚本から、二卵性双生児のような、別々の

魅力をもった作品を生み出してみたい。うまくいかどうかはわからない挑戦だけどね…。(笑)」実際、夏に行われたワークショップでも、マルチェロと穂谷、そして奥村は、同じ脚本を読み込むということを出発点としながらも、対話とワークショップを重ねることで、それぞれの肉体・肉声から何が生まれるかを、ひたすら模索し続けていた。

「僕は、今回の物語を、ティンカーベルがホームレスとして生きているという設定にしようと考えている。ホームレスのティンカーベルが段ボール箱や新聞紙で家を作ろうとするが、誰かよその人によってその家は壊されてしまう。だから、彼女はまた、ものを集めてきて家を造り直さなきゃならない。彼女がつくるのは(彼女が愛した)ピーターバンの魂を祀る神社のようなものだ。そこで、ティンカーベルは行き交う人々に自分の物語を語りかけ、そして我々は知ることになる。ティンカーベルが、とても大切な何か、つまり深く愛した恋人を失ってしまっているということね。」マルチェロはこう続ける。「ここには、愛することと、それを失うことを経験した、痛々しい状態にある心の葛藤という普遍的なテーマがある。生きるべきか、死ぬべきか。人生に終止符を打つべきか、それともこのまま生き延び続けるべきか。」「相反したふたつの感情が葛藤し、いつもはそのマイナスな方が勝っている。けれど、ある日、突然、いつもは負けていたポジティブな方が圧勝するんだ。」

野田秀樹が1981年正月の三が日に、一気に書き上げたという「障子の国のティンカーベル」は、多くの機知と魅力がちりばめられ

た戯曲だ。劇中には、主人公のティンカーベルはもちろんだが、それ以外にもピーター(・パン)や曳子、国王や皇帝、死神や悪魔など、野田秀樹らしい多彩なキャラクターが登場し、歌も交えながら物語はめまぐるしく展開する。さらに、この戯曲には、タイトルからも推察できる通り、日本と西洋の繊細かつ複雑な関係も織り込まれている。マルチェロ曰く「たくさん

のレイヤー(層)が折り重なり、仕掛けが施された野田さんらしい複雑で奇想に溢れた戯曲」を、たったひとりでどのように演じきるのか?女優である穂谷友子や奥村佳恵にとっても大きな挑戦であることは間違いない。

国際的に活躍する演出家、マルチェロ・マーニと、それぞれ違う個性を有するふたりの女優が、どのような化学反応を見せるのか?ひとと味もふた味も違うスパイスの効いた、新たなる野田ワールドの誕生は如何に?しかと、その目で確かめてほしい。(敬称略)

取材・文：編集部

**障子の国のティンカーベル**  
シアター・イースト  
作:野田秀樹  
演出:マルチェロ・マーニ  
2月13日(木)~17日(月)  
出演:穂谷友子 ※17日(月)は追加公演  
2月20日(木)~23日(日)  
出演:奥村佳恵  
※ダブルキャストによる連続上演

主催:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)  
東京都/東京文化発信プロジェクト室(公益財団法人東京都歴史文化財団)  
※東京文化発信プロジェクト事業

詳細はP12へ

おそろべき親たち

誰もが“伝説”と呼んだ、  
衝撃の舞台が帰ってくる

息子を溺愛する母が、息子の恋人の出現に激しく嫉妬する。  
だが、その息子の恋人とは、父親の不倫相手でもあった。  
一家に嵐が忍び寄る……。2014年、衝撃のジャン・コクトー  
作品『おそろべき親たち』が、東京芸術劇場に復活！



伝説の舞台と呼ぼう。2010年、東京芸術劇場 シアターウエスト(当時の呼称は、シアターウエストではなく「小ホール2」だった)で上演されたコクトー劇『おそろべき親たち』。実力派揃いのキャストを30代の若き演出家が束ね切っただけでも特筆ものだが、容赦のないリアリズム追求で、家族の欺瞞と崩壊を生々しく現出させた手腕。

出演者のひとり、麻実れいは、本作などで、第18回(2011年)読売演劇大賞最優秀女優賞を受賞。演出家自身も毎日芸術賞千田是也賞に選ばれるという、各方面から高く評価を受ける結果となった。

その演出家、熊林弘高。覚えておいてほしい名前だ。2014年3月、ここシアターウエストに帰ってくる名作『おそろべき親たち』の衝撃的な舞台成果とともに。

2010年作品メンバーの再結集に誰もがこだわった今回。その際のキャスティング交渉時から、演出家とキャスト5人は、太い絆で結ばれていたのだろう。特に、最年少キャスト・満島真之介の登場は、キャスティングの最後のパズルのピースをドラマチックに埋めた。演出家は回想する。

「息子役のミシェルだけが稽古開始の段階でも未決定でした。ちょうどそのころ、あるワークショップに満島真之介さんがふらっと来ていて、インスピレーションが走った。さっそくオーディションしました」。母親役の麻実れいにも、最年少キャストの登場は鮮烈な印象を残したようだ。彼女は言う。「オーディションの会場に入ってきた彼は、まさに「まっしろけ」。白でなくて「まっしろけ」でした。透き通って、無垢で。母イヴォンヌ役のわたしとし

ては、ミシェルそのまんまの満島くんに入りやすかった」。熊林は続ける。「ミシェルは、閉じられた世界から飛び出していく。何も知らないピュアさと、外の世界を楽しいと思う感性と、飛び出して傷つくナイーブさ。そういう肉体を持った人が必要でした。決めたのは、理屈では説明できない、見た瞬間の何か」。

この戯曲の演出が「行ける」と思えた瞬間は、熊林いわく「ラストシーンのひらめき」。未見の方のために、ラストの詳細を述べることは控える。「モラルを超えた性愛のかたち」とだけ書いておく。過激にエロティックな着想である。演出家は続ける。「キャスト全員に、ラストはそのような描き方になると宣言して、みんなで話し合っただけです。翌日、そのシーンを演じる麻実さんと満島さんのふたりだけに来てもらい、麻実さんのアイデア通りに演じました。その稽古は10分で完了した。生々しいシーンでした」。アイデアを出した麻実の証言。「熊林さんのやりたいことはすべて受けようと思っていましたから、終始素直でしたよ(笑)。「え!?!」と思うような大胆なシーンもありましたけどね。例えば別のシーンで、「ここはシックスナインで」と言われて、「何ですそれは? 知りません」ということもありました(笑)」。大胆なシーンに踏み込むのは、演出家自身の指針でもある。「ヨーロッパの巨匠演出家ペーター・シュタインが言った言葉「芝居におけるすべての関係性はエロスだ」は、座右の銘です。『おそろべき親たち』は、まさにこの言葉通りの作品です」。

2002年、熊林弘高は、ストリンドベリ作品『火あそび』で、演出家デビューを果たす。2010年の『おそろべき親たち』は、彼にとつ

て、わずか6作品目の演出キャリアだった。2014年3月、その『おそろべき親たち』が帰ってくる。麻実れいは言う。「3年の月日が流れて、例えば満島くんは、今でも健康的な青年ではあるけれど、時が彼を成長させています。前のままのミシェルじゃないということに彼自身が驚くはず。成長した彼やわたしたちを、しかも、同じ作品で表現したい。熊林さんの演出は、結構厳しくてしつこい。でも、全員が、あの暖かさ、優しさ、繊細さに惚れているので、楽しい稽古場でした。演出助手の方が「そろそろ稽古を」って促すほど、毎日、時を忘れて雑談したり、日々充実。そういう風にリラックスしているのに、厳しいところは厳しい。そこが取り柄なんです。熊林さんの演出も、どう変化するか、楽しみ」。演出家も、覚悟は決まった。「2010年のときの資料映像も持っていませんし、台本に書き込みもありません。前回はなぞる気もない。同じスタッフ、同じキャストとともに、一からの気持ちでのぞみます」。

劇場で見届けてほしい、『おそろべき親たち』2014年バージョンを。伝説は、再び、伝説になる。

取材・構成：戸塚 成

**おそろべき親たち**  
3月2日(日)~16日(日) シアターウエスト  
作:ジャン・コクトー  
翻訳・台本:木内宏昌  
演出:熊林弘高  
出演:佐藤オリエ  
中嶋朋子  
満島真之介  
中嶋しゅう  
麻実れい

主催:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)  
東京都/東京文化発信プロジェクト室(公益財団法人東京都歴史文化財団)  
助成:平成25年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業  
※東京文化発信プロジェクト事業  
原作:「LES PARENTS TERRIBLES」 by Jean COCTEAU  
ジャン・コクトー委員会会長 ピエール・ベルジェ氏提供  
著作権代理:(株)フランス著作権事務所

詳細はP13へ



芸劇 eyes ニッポンの河川「大きなものを破壊命令」	
3月1日(土)～9日(日) シアターイースト	詳細はP13へ



左上:佐藤真弓 右上:峯村リエ  
左下:光瀬指絵 右下:中林 舞

作・演出:福原充則  
出演:峯村リエ、佐藤真弓、中林 舞、光瀬指絵

主催:ニッポンの河川  
提携:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)  
制作協力:ブラグマックス&エンタテインメント

## 4人の女優が数十人を演じ、照明と音響も担当?!

熊谷に現れた連続殺人犯“首絞めジャック”を倒すべく少年が立ち上がり、ジャングルでは四姉妹の脱走兵が……。得体の知れない“大きな力”に対峙する人々を、ナンセンスな笑いを交えて軽妙に描き、こまばアゴラ劇場「サマーフェスティバル〈汎-PAN-〉2011」で話題となった作品が、2年7ヶ月を経て再演される。すべてをなぎ倒し、あらゆるものを破壊した、あの地震からちょうど3年というタイミングで。

2006年旗揚げのニッポンの河川は、役者の森谷ふみと光瀬指絵、脚本・演出の福原充則によるユニット。ピチチ5(クインテット)主宰でもあり、別の名前も持ち複数のユニットで活動する福原は、宮崎あおい主演の『その夜明け、嘘。』が第54回岸田國土戯曲賞最終候補作品にノミネートされるなど、いま最も期待されている若手劇作家のひとりである。

舞台だけでなく、田辺誠一主演のTVドラマ『三代目明智小五郎』など、TVと映画でも多くの脚本を担当。さらに、初監督作品となる映画『キング・オブ・心中』も控えている。

キャストは、前回も出演した光瀬とナイロン100℃の峯村リエに、猫のホテルの佐藤真弓と振付師でもある中林舞が加わる。4人の女優たちが数十人の濃いキャラクターを演じ分け、さらに音響と照明も担当。演じながら足踏みスイッチで手作り照明を、手持ちの機材で音響も操り、ミニマムなキャスト&スタッフでアナログな作業をこなしつつ、壮大な物語を紡ぎ出す。破天荒なストーリーラインと疾走するグルーヴ感、鮮やかにキャラの切り替えをこなす女優陣の力量にも目を見張る。著名な演劇人たちも注目のニッポンの河川を未経験の人は、この機会にぜひ。

芸劇 eyes サンプル「シフト」	
3月13日(木)～23日(日) シアターイースト	詳細はP14へ



『永い遠足』より

作・演出:松井周  
出演:古屋隆太、奥田洋平  
(以上サンプル・青年団)  
野津あおい(サンプル)  
兵藤公美(青年団)  
黒宮万理(少年王者館)  
武谷公雄  
市原佐都子(Q)



©岩村美佳  
松井 周

主催:サンプル、quinada  
提携:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)  
助成:アーツカウンシル東京、芸術文化振興基金

## 松井周主宰のサンプル旗揚げ公演、待望の再演

物語の舞台は過疎化が進む地方の山村。若く美しい妻みすずとの新婚生活を夢見て都会から婿入りした吉田は、妻の親族たちに常軌を逸した行為を強要されて戸惑う。高貴な血筋だと自ら語る彼らは、“神”の出現を待ち望んでいた……。

平田オリザ主宰の劇団青年団に俳優として入団後、作家及び演出家としての活動もスタートした松井周が、若手自主企画公演を経て、2007年に青年団内ユニットとして立ち上げた劇団サンプル。こまばアゴラ劇場「冬のサミット2006」で上演された記念すべき旗揚げ公演が、古屋隆太を除くキャストを一新して待望の再演となる。新たに加わったキャストには、気鋭の劇作家で劇団Q主宰の市原佐都子も。

土着の奇妙な因習に縛られた村人たちと、その中に異物として存在し、翻弄されるよそ者。痛烈なブラックユーモアと風刺を巧みに

織り交ぜつつ浮き彫りにされるのは、虚実のあわいから抽出された人間の一例(サンプル)だ。フランス語にも翻訳され、マルセイユの国際芸術祭「actOral.06」でも上演された。空間と物語を結びつける、大胆でユニークな装置にも注目を。

松井は08年の『家族の肖像』と09年の『あの人の世界』で続けて岸田國土戯曲賞ノミネート、そして10年の『自慢の息子』で同賞を受賞。今後の演劇界を牽引していく旗手であることは誰もが認めるところ。「フェスティバル/トーキョー」の常連でもあり、2013年11月に上演された新作『永い遠足』も高く評価されたばかり。『シフト』の後の『カロリー消費』で青年団から独立し、正式にサンプル主宰として歩み始めた松井の才能が遺憾なく発揮された本作は、初演から7年を経た今、どんな転換(シフト)を見せてくれるだろうか。

勅使川原三郎ディレクション U18 ダンスワークショップ・プロジェクト デモンストレーション公演「今、何してるの?」	
1月13日(月・祝) 18:00開演 シアターイースト	詳細はP9へ



監修・演出:勅使川原三郎  
出演:U18ダンスワークショップ・プロジェクト参加者

## 18歳以下の青少年少女に向けたワークショップ半年の成果がここに

U18ダンスワークショップは、東京芸術劇場と勅使川原三郎が2012年度から継続してきたプロジェクト。18歳以下の若者たちを対象に、自分の呼吸と身体を基礎に無限の可能性を探求することをねらいとし、今年は8月から、13名の参加者が勅使川原三郎のダンス・メソッドを体験してきた。学ぶのはダンスのテクニックではなく、表現する以前の身体を観察する方法。「いっぱい呼吸して、吐きながら自分の身体を床に溶かして」「目に力を入れすぎ

ないで」「思い切って、ボールを落とすように」青少年少女たちは、講師の言葉を吸い込み、考え、身体に伝えることを繰り返す。深い呼吸とともに感覚が研ぎ澄まされていくなかで、緩められた身体を通して新しい発見や気づきを繰り返し積み重ねていく。半年のワークショップの成果を見せる1月のデモンストレーション公演では、瑞々しく若いエネルギーが舞台を埋めつくすことだろう。

主催:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)  
企画制作:東京芸術劇場/KARAS  
助成:平成25年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業

芸術+トーク 朗読「東京」	
1月15日(水)～17日(金)・2月7日(金)～9日(日) シアターイースト	詳細はP9・P12へ

## “東京”の魅力を芸劇から発信!

“東京”をテーマにした新リーディング企画。“東京”を描く短編、戯曲、エッセイなど様々な作品に描かれた“東京”を俳優が朗読し、読後トークで自分の“東京”を語る。“東京”で生まれ育った人にとってのわが街“東京”、外から来て東京に暮らす人にとってのわが街“東京”。それぞれの距離感で語られる“東京”と、読まれる物語から、この街のさまざまな顔が浮かびあがってくるのではないのでしょうか。演出家には、毛皮族の江本純子、猫のホテルの千葉雅子、tsumazuki no ishiの寺十吾、映像ディレクターの瀬田なつきを迎えます。小劇場演劇で活躍する演出家から映画やテレビなど映像の分野で活躍する演出家まで幅広い顔ぶれが揃いました。“東京”のどのような表情を取り上げるのか、ご期待ください。出演者など詳細が決定しましたら、ホームページで発表いたします。お楽しみに!

ルの千葉雅子、tsumazuki no ishiの寺十吾、映像ディレクターの瀬田なつきを迎えます。小劇場演劇で活躍する演出家から映画やテレビなど映像の分野で活躍する演出家まで幅広い顔ぶれが揃いました。“東京”のどのような表情を取り上げるのか、ご期待ください。出演者など詳細が決定しましたら、ホームページで発表いたします。お楽しみに!



主催:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)／豊島区  
助成:平成25年度文化庁地域発・文化芸術創造発信イニシアティブ

芸術+トーク 異世代作家リーディング「自作自演」	
〈第8回〉1月18日(土) 14:00開演・〈第9回〉2月4日(火) 19:00開演 シアターイースト	詳細はP9・P11へ



高橋源一郎×藤田貴大



保坂和志×岡田利規

## 世代の異なる作家が自作を読み、語り合う。

2011年より不定期に開催している『自作自演』。2人の異世代作家が自作を読み、読後のトークを行う2部構成でお届けしています。作家が、自らの小説や戯曲、エッセイなどを自らの声で朗読する。作家自身の朗読だからこそ、作品本来がもつ魅力を充分に感じる事が出来る。トークでは互いの創作への想いや2人の意外な接点など、貴重な話が聞ける贅沢なひととき。こんなにも作家の世界観をかいま見ることが出来る機会には、なかなか

か出会えないでしょう。11月に一足先に開催された、大人計画の松尾スズキとハイバイの岩井秀人ペア。多くのお客様にご来場頂き、会場は終始笑いが絶えず大盛況のうちに終了しました。次回は1月に作家 高橋源一郎とマームとジブシーの藤田貴大、そして2月には作家 保坂和志とチェルフィッチュの岡田利規と、注目の異世代ペアが続きます。彼らがどの自作を読み、どんなトークが展開されるのか、ご期待ください。

主催:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)



クラシカル・プレイヤーズ東京 演奏会  
インタビュー 指揮&チェンバロ **有田正広**

多士済々の顔ぶれに光を当てる

普段は 1800 年前後のオーケストラ曲をオリジナル楽器で紹介するクラシカル・プレイヤーズ東京（CPT）。2 月の本公演と 3 月の室内楽公演では、いつもとは違った姿の CPT に出会える。2 月公演ではチェンバロも弾く指揮者の有田正広が、事の真相を語る。



——2月の演目はバロック音楽が中心ですね

クラシカル・プレイヤーズは、作曲当時のスタイルの楽器を使うのが本分。メンバーは、バロック音楽をきちんと演奏できる人たちばかりです。プログラムは「バロック音楽の宝箱」にシャベルを突っ込んで、すくってみたようなもの。箱の中に光るところを見つけてシャベルをざっと入れてみる。持ち上げるとさらさらと落ちるものもあるし、いっぺんにすくえるものもある。シャベルに入っていた作品を確かめてみたら、ヴィヴァルディがありテレマンがありバッハ親子があった。それをプログラムに並べてみたというわけです。

——それぞれの曲は関連が深そうに見えますが

関連があるようで、ないようで、ある(笑)。大バッハはドイツのワイマールにいたころ、ヴィヴァルディの《調和の靈感》を夢中で勉強しました。そのころ生まれたのが次男カール・フィリップ・エマヌエル・バッハです。テレマンはこのエマヌエルの名付け親。意図したわけではありませんが関連している。「宝箱」の魔法ですね。

——エマヌエル・バッハの《オルガン協奏曲》は珍しい演目では？

2014年はエマヌエルの生誕300周年。会場のコンサートホールには、バロック仕様と現代仕様とのリバーシブル・オルガンが設置されています。それを使わない手はありません。エマヌエルの《オルガン協奏曲》を取り上げたのには、そんなわけもあります。エマヌエルはバロックと古典との端境期を生き、ニュアンスに富んだ音楽をたくさん生み出しました。《オルガン協奏曲》は、そんな作曲家のファンタジーを存分に楽しめる1曲です。

——テレマンの協奏曲では意外な組み合わせの独奏が聴けますね

高音楽器のリコーダーと、低音楽器のファゴットとを組み合わせた面白い作品です。「全ての楽器を演奏できる」と自叙伝に自慢げに書いたテレマンだけに、両楽器のよさが絡み合っています。

——ヴィヴァルディの協奏曲には弦楽器だけが登場します

クラシカル・プレイヤーズの公演は通常、

オーケストラ編成です。メンバーは普段、常設楽団の団員やソリストとして国内外で活躍しています。多士済々なのですが、オーケストラ公演では個々の奏者の魅力はどうしても隠れがちです。そこでオーケストラの中を腑分けして、各奏者の魅力にスポットライトを当てるのが2月の公演。各パートをじっくりと聴いてもらうのが目的です。ヴィヴァルディでは4人のヴァイオリン奏者が独奏として活躍します。オルガンを管楽器の集合体と考えれば、エマヌエル・バッハとテレマンの協奏曲では管楽器が前面に出ます。管楽合奏曲ばかりを集めた3月の室内楽公演も、個々の奏者に光を当てる企画です。2月の公演で僕は、チェンバロを弾きながら指揮をします。バロック音楽にはそういうスタイルの方がふさわしいでしょう。

——指揮棒代わりに杖を使ったりは……

怖いので使いません(笑)。大先輩の音楽家リュリが指揮の最中に杖で足を突いて死んでいますから!

取材・構成：澤谷夏樹

テレビ朝日開局55周年記念  
なんでも!クラシック 2014

誰もが楽しい6日間の「クラシック・フェス」  
徹子の部屋、ドラクエ、フィギュアスケート、ビートルズ、プログレ、第九……。これが本当にクラシックなの?と思うくらい「なんでも!」あって「なんでも!」楽しめる、前代未聞の音楽祭。クラシックのビギナーもこれなら安心。



「敷居が高い」を打ち破る楽しさ

東京芸術劇場のコンサートホールとブレイハウスが、朝から夜までクラシック音楽であふれる6日間。『テレビ朝日 なんでも!クラシック2014』は、ここに来れば誰もがクラシック・ファンになってしまうと断言したくなるほど、気軽に多彩なプログラムがそろったワンダーランドだ。全23公演の中には本格派のベートーヴェンやチャイコフスキーを筆頭に、誰もが耳にしたことのある名曲や子供たちが楽しめるゲームの音楽、ソチ冬季オリンピックの話題で盛り上がる時期にふさわしいフィギュアスケートで使われる名曲、さらにはロック・ファンとクラシックの橋渡しをするビートルズ・ナンバーまで、さまざまなコンサートが行われる。

常に「敷居が高い」という形容がついて回るクラシック音楽だが、このフェスティバルはまったく無縁。「クラシックは難しそうで」と思っている人にこそ、ぜひ足を運んで欲しいコンサートがそろい、しかも家族で楽しめるものが多いのだ。料金もさまざまであり、通常のクラシック・コンサートより安いチケットもあるため友人などを誘いやすいのもポイントだろう。有名な音楽家たちも多数出演して、交響曲やオペラ・アリア、室内楽曲やピアノ曲など、あらゆるジャンルの音楽を聴かせてくれるため、一気にクラシック通となってしまうような楽しささえ感じられる。

人気音楽家が登場する本格派クラシック

その幕開けを飾る前夜祭は、テレビ朝日の看板番組『徹子の部屋』から誕生したクラシック・コンサート。お馴染みの黒柳徹子がステージへ登場し、前橋汀子（ヴァイオリン）や西本

智実（指揮）らによる演奏とトークなどが繰り返される人気プログラムだ。

クラシックの名曲を素晴らしい演奏で味わいたいという方なら、パッションあふれる“炎のコバケン”こと小林研一郎の指揮によるチャイコフスキーや、デビュー55周年を迎えた中村紘子が十八番のグリーグとラフマニノフを弾くというコンサート、ベートーヴェンと2014年に生誕150年を迎えるリヒャルト・シュトラウスの傑作が堪能できる「ふたつの英雄物語」、そして福島へ思いを込めてベートーヴェンの「第九」交響曲とドヴォルザークの「新世界より」を演奏するグランド・フィナーレなどがおすすめ。

もう少し気軽に楽しみたいという方には、音楽番組『題名のない音楽会』でもおなじみの青島広志が指揮とトークを務めるオペラ・ガラ・コンサート、若手随一のチェリストである宮田大がクラシックや映画音楽などを奏でるリサイタル、名曲がたくさん使われているフィギュアスケートをテーマにしたコンサートなどが用意されている。

選ぶのに迷ってしまうほど多彩な内容は、まさに「なんでも!」というタイトルにふさわしい。

ビギナーからマニアまでが納得のコンサートも

通常は演劇やダンスなどの公演が行われるブレイハウスは、クラシック音楽ファンにとって新鮮な空間かもしれない。ここで行われるのは、子供たちが楽しめる「キッズから“はじめる”クラシック」と、大人のための「ミドルエイジから“はじめる”クラシック」という2つのシリーズ。それぞれ、ヴァイオリン、ピアノ、歌、ギターという4つのトーク+コンサートが行われ、人気音楽家たちが楽器や声の魅力を教えてくれる。このシリーズはテレビ

朝日の開局55周年を記念して、5才以下および55才以上の方なら550円となるシャレたスペシャル・プライス設定になっているのがうれしい。

ほかに、超人気ゲームの「ドラゴンクエスト」と、やはり壮大な世界観を持つワーグナーの大作「ニーベルングの指環」を対峙させるコンサートは、豊かなオーケストラ・サウンドに浸りきれ一夜になるはず。また、クラシック界随一のプログレマニアで知られる荒井英治（東京フィル・ソロコンサートマスター）が中心となり、イエスやピンク・フロイドといった人気バンドの名作をオーケストラや弦楽四重奏で演奏するという刺激的なコンサートにも注目したい。

コンサートが行われる時間も午前中から夜までと幅広く、平日の昼を充実させたいという方、趣味の合うお友だちやママ友などを誘いたい方、家族で楽しい思い出を作りたい方、子供たちを音楽に触れさせたいという方など、さまざまなニーズに応えてくれる。

ビギナーからマニアまで、クラシックを楽しみ尽くす6日間となる『テレビ朝日 なんでも!クラシック2014』。これを体験すれば、きっと2014年は東京芸術劇場に足を運んでクラシックを堪能する機会が、ぜったいに増えるはずだ。

文：オヤマダアツシ

テレビ朝日開局55周年記念  
なんでも!クラシック 2014

2月6日(木)～11日(火・祝)  
コンサートホール/ブレイハウス

公式サイト <http://nandemoclassic.jp>

主催:テレビ朝日/BS朝日/イープラス  
共催:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)  
協力:豊島区/公益財団法人としま未来文化財団  
制作・運営協力:藍インターナショナル/  
インタースペース/ViViA

詳細はP11・P12へ

東京芸術劇場Presents  
**クラシカル・プレイヤーズ東京 演奏会**  
2月1日(土) 14:00開演 コンサートホール  
指揮&チェンバロ:有田正広  
リコーダー:宇治川朝政/ファゴット:堂阪清高  
オルガン:ジャン=フィリップ・メルカールト  
管弦楽:クラシカル・プレイヤーズ東京(オリジナル楽器使用)  
A.ヴィヴァルディ:『調和の靈感』Op.3から第10番  
4つのヴァイオリンのための協奏曲  
G.P.テレマン:リコーダーとファゴットのための二重協奏曲  
C.P.E.バッハ:オルガン協奏曲  
J.S.バッハ:管弦楽組曲第3番

**クラシカル・プレイヤーズ東京**  
●室内楽演奏会シリーズ vol.2 ～ハルモニウムジーク～  
3月21日(金・祝)18:00開演 コンサートホール・エントランス(5階)  
L.v.ベートーヴェン:木管八重奏曲 ほか  
オーボエ:本間正史、北 康乃/クラリネット:満江菜穂子、山根孝司  
ファゴット:堂阪清高、向後崇雄/ホルン:大野雄太、伴野諒介

Profile  
有田正広(指揮&チェンバロ)  
古楽器と現代楽器の双方を駆使した広範な活動を繰り広げる、日本が世界に誇る国際的な音楽家の一人。1989年「東京バッハ・モーツァルト・オーケストラ」を結成し、指揮者としても活動を開始。2009年ロマン派までをレパートリーとする日本初のオリジナル楽器によるオーケストラ「クラシカル・プレイヤーズ東京」を結成。新たな音楽的創造を常に探求し、古楽器と現代楽器の枠を超えた新たな音楽的創造の領域へとさらに活動の場を広げている。

宇治川朝政(リコーダー)  
桐朋学園大学卒業。ハーグ王立音楽院修士課程修了。カタルーニャ高等音楽院にてリコーダーを専攻。パリ国立高等音楽院にて室内楽を専攻する。第14回古楽コンクール最高位受賞。第5回国際テレマンコンクール第1位と聴衆賞を受賞。05年アンプロネ・オペラプロジェクトに参加。11年ライプツィヒ バッハ音楽祭及びオランダ古楽ネットワークに招聘され公演を行う。現在、木の器にて東京を中心に演奏活動を展開。

堂阪清高(ファゴット)  
1963年東京藝術大学附属音楽高校にクラリネットで入学すると同時にファゴットを始める。66年東京藝術大学に進み、在学中NHK毎日音楽コンクールにクラリネットとファゴットで入選。70年同大学をクラリネットで卒業後、同大学院にファゴットで入学。また東京都交響楽団にてファゴット奏者として入団。73年より首席奏者となり、2012年退団。現在、沖縄県立芸術大学で後進の指導に当たる。

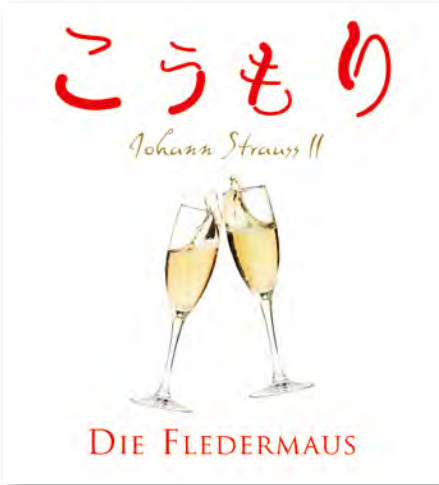
ジャン=フィリップ・メルカールト(オルガン)  
パリ国立高等音楽院をブルミエ・プリで卒業。またベルギー王立音楽院にて修士号を取得、モンス王立音楽院にて作曲法を学び2007年修士号を取得する。07年ジルバーマン国際オルガンコンクール第2位、09年ブルー・ジュ国際古楽コンクールオルガン部門第2位。03年から札幌コンサートホールKitaraのオルガニストを1年務め、現在、所沢市民文化センター・ミュージズ オルガニスト、那須野が原ハニーホール アドヴァイザー、聖クレゴリオの家宗教音楽研究所と片倉キリストの教会では講師を務めている。

主催:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団) 詳細はP11・14へ



東京芸術劇場シアターオペラvol.7 J.シュトラウスⅡ 喜歌劇『こうもり』全3幕	字幕付原語&一部日本語上演
2月20日(木) 18:30開演 コンサートホール	詳細はP12へ

## ウィーンの『こうもり』東京に舞い降りる



オーストリアの都ウィーンでは、年明けから2月のカーニバルまで舞踏会が盛んに開かれる。踊るのが好きで、音楽が好きなウィーン子だからこそ、「舞踏会」といういささか古めかしい催しが、今なお健在なのだろう。

そんな舞踏会をテーマにしたオペレッタが『こうもり』。1874年に初演されたのだから、もうかれこれ150年ほど前の作品なのに、今なお絶大な人気を誇っている。

その理由は、1つには底抜けに楽しいから。「オペレッタ」は、喜劇を主とした軽めのオペラという意味だが、『こうもり』はそんなジャンルの代表選手である。何しろ舞台上では華やかな舞踏会が繰り広げられ、艶っぽい恋物語や、ドタバタの取り違え劇が次々とおこるのだ。さらにそんなストーリーを華やかに彩るのが、ヨハン・シュトラウス2世(1825-99)の音

楽である。ワルツやポルカといった、舞踏会には欠かせないダンス音楽でキャリアを築いた作曲家だけのことはあって、『こうもり』でも身も心も浮き立つようなダンス音楽が万華鏡のように花開く。

そんな『こうもり』をウィーンでの伝統的な上演そのままのスタイルで上演したって、それだけで素晴らしいひと時となることは請け合いだ。だが、もう少し違う楽しみ方も考えられないか。21世紀の日本で、ヨーロッパと日本のキャストから成る公演をおこなうにあたっては、そこに幾つもの工夫を凝らして『こうもり』の新たな魅力をあぶりだすことだって可能だろう。そして…これは歴代のシアターオペラの根底に脈打つ問題意識だが…、単なる輸入品でも借り物でもない日本ならではのオペラを発信してゆく姿勢こそ、この国でオペラを未来に繋げてゆくために必要な条件なのである。

というわけで、このたびの『こうもり』の舞台はずばり、現代の日本。国際化が進む中で、オーストリア人の証券マンの夫と、元モデルの日本人の妻がいて、そこにモードデザイナーが忍び寄ってきて…という、どこかのハイソサエティで今日も繰り広げられているようなリアルな設定から、物語は始まる。ただしこれは突拍子もない思いつきなどではなく、そもそも『こうもり』のオリジナルの台本ではこの作品が誕生した同時代のウィーン近郊のどこかの街が舞台となっているのだ。つまり、当時の観客にとっ

ては舞台上の出来事とはいえ、きわめてリアルな要素の入ったオペレッタだった。

しかも『こうもり』は、単なる爆笑劇ではない。実はこの作品が初演された前年の1873年、都市改造や万国博覧会といった華やかな出来事が続き、沸きに沸いていたウィーンの社会は、想定外の事件に見舞われる。株が大暴落し、多くの投資家が一夜にして富を失うこととなったのだ。右肩上がりの好景気が続く中で、未来永劫幸せな日々が続くと思っていたウィーン子は、突然の事態の前に茫然と立ち尽くすだけだった。

『こうもり』は、そんな彼らを慰めるために作られた作品であるといっても過言ではない。第1幕で酒瓶を片手に歌われる「どうしてもないことを忘れられれば／それで幸せ」などといったフレーズは、凡百の応援歌などよりもよほど、深い失望に晒されたウィーン子の心に寄り添うものであったろう。しかもこの歌詞を彩る音楽はといえば、とろけるように甘く切ないワルツの調べときている。

…今なお様々な不安の影が拭えない現代の日本。そのただなかにあって幕をあける『こうもり』は、きわめて私たちの物語なのだ。そしてウィーンで舞踏会まっさかりの2014年の2月、シュトラウス2世の作ったしなやかでしたたかな音楽に乗せて、光も影もあるウィーンの『こうもり』が、東京に舞い降りる。

文：小宮正安  
(ヨーロッパ文化史研究家、シアターオペラ『こうもり』日本語台本・字幕担当)

石川県立音楽堂×東京芸術劇場 共同制作公演  
東京芸術劇場シアターオペラvol.7『**こうもり**』全3幕  
2月20日(木) 18:30開演 コンサートホール  
指揮：ハンス・リヒター  
管弦楽：東京交響楽団【東京】、  
オーケストラ・アンサンブル金沢【金沢】  
合唱：武蔵野音楽大学(合唱指導：横山修司)【東京】、  
こうもり特別合唱団(白山合唱連盟・コロカメリア、  
武蔵野音楽大学OB・OG合同合唱団)【金沢】  
芸術アドバイザー：メラニー・ホリディ  
演出：佐藤美晴 脚本：アンティ・キャロン  
金沢公演  
2月15日(土) 石川県立音楽堂コンサートホール  
主催：公益財団法人石川県音楽文化振興事業団、  
東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)、公益財団法人東京交響楽団  
助成：平成25年度 文化庁 劇場・音楽堂等活性化事業(共同制作支援事業)



ハンス・リヒター  
(指揮)



ペーター・ボーディング  
アイゼンシュタイン  
(証券ディーラー)



小川里美  
ロザリンデ  
(日本人の妻)



小林沙羅  
アデーレ  
(家政婦)



セバスティアン・ハウプマン  
ファルケ  
(証券ディーラー)



新海康仁  
プリント  
(日本人の弁護士)



妻屋秀和  
フランク  
(警部)



タマラ・グーラ  
オルロフスキー  
(イベントプロデューサー)



ジョン・健・ヌツツォ  
アルフレード  
(ファッションデザイナー)



西村雅彦  
フロッシュ  
(警部補)



メラニー・ホリディ  
2幕のスベシャルゲスト  
(芸術アドバイザー)



佐藤美晴  
(演出)

芸劇&読響 0才から聴こう!! 春休みふれあいコンサート	
3月25日(火) 13:30開演／15:30開演(2回公演／入替制) コンサートホール	詳細はP14へ



指揮：北原幸男  
ナビゲーター：中井美穂  
ソプラノ：清水理恵  
管弦楽：読売日本交響楽団

主催：東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)  
助成：平成25年度 文化庁 劇場・音楽堂等活性化事業

## 家族で思い出を作る、楽しいコンサート

子供たちの春休み期間は、大人にとっても楽しい思い出作りができる貴重な日々。普段はなかなかクラシックのコンサートに行けないけれど家族そろって楽しみたいという方も多く、その一方では子供ができてコンサートから足が遠のいてしまった方、小さな子供は預けなくてはいけないので楽しめないという方もいる。そうした声に応えるのが、0才児も一緒にホールへ入って音楽が聴ける好評企画『春休みふれあいコンサート』だ。

クラシック・コンサートは6才未満の乳幼児へ入場制限をしているものが多く、最近では一時預かり所などを設けているケースも増えてきたが、まだまだ少ないのが事実。それだけに「0才から聴こう!!」というタイトルは心強く、こうしたコンサートを待ち望んでいた音楽ファンも多いだろう。

東京芸術劇場でのマチネーシリーズ(週末午後のコンサート)等で名演を繰り広げている読売日本交響楽団が、楽しいマーチや動物たちの鳴き声が聞こえてくる曲、素敵な歌声が聴けるオペラのアリアなどを次々に演奏してくれる。欧米各国で活躍する指揮者の北原幸男や、藤原歌劇団のステージなどで軽やかな歌声を聴かせている清水理恵が出演。さらにはフリーアナウンサーの中井美穂が、音楽やオーケストラについてわかりやすく紹介してくれるのもうれしい。

子供たちがオーケストラに初めて接し、お稽古ごとを始めたり、将来への道を決める大事な機会になるかもしれないコンサート。お孫さんと一緒に音楽を楽しみたい方たちや、ご近所の仲良しファミリーを誘い、みんなで幸せな時間を過ごすのはいかがだろう。

東京芸術劇場&ミュゼ川崎シンフォニーホール共同企画 第3回音楽大学フェスティバル・オーケストラ 演奏会	
3月28日(金) 19:00開演 コンサートホール	詳細はP14へ

## 若き音楽家たちと話題の名匠が新時代を開く

8つの音楽大学で学ぶ若い世代の演奏を聴き、その新鮮さと情熱を感じながら将来の音楽シーンに思いを馳せることができる「音楽大学オーケストラ・フェスティバル」。2013年は11月～12月に開催され、各大学が個性を打ち出した演奏で新しい歴史を作った。しかし、その歩みはさらに可能性を広げる。日本でもトップクラスと言える8つの大学から選抜されたメンバーが集結してスーパー・オーケストラを結成し、ひとつの伝説を作り上げようとしているのだ。第3回「音楽大学フェスティバル・オーケストラ」は、まさに未来のプロ音楽家たちによる演奏を“ひと足早く”味わうことができる、大きなチャンスだと言えるだろう。

演奏されるのはスメタナとドヴォルザークの名曲。そして指揮台に登場するのは、音楽

ファンに「世界にはまだ、こんなマエストロがいたのか!」という驚きと尊敬をもって迎えられたチェコの名匠、ラドミル・エリシュカ。1931年生まれというベテランでありながらも日本では数年前まで存在をほぼ知られず、NHK交響楽団や札幌交響楽団などに客演すると話題を呼び、追っかけファンまで出現したというマエストロだ。「滋味あふれる」と形容したいその音楽が若い世代の音楽家たちにどのような影響を与え、聴き慣れた名曲がどのように響くのだろうか。

そうした可能性も含め、これまで音大生の演奏にあまり関心がなかった人にも注目されるコンサートになるはずだ。「一途でも志を持った演奏」と聴衆からも絶賛の声が寄せられるその音楽は、ここでしか聴けないのだから。

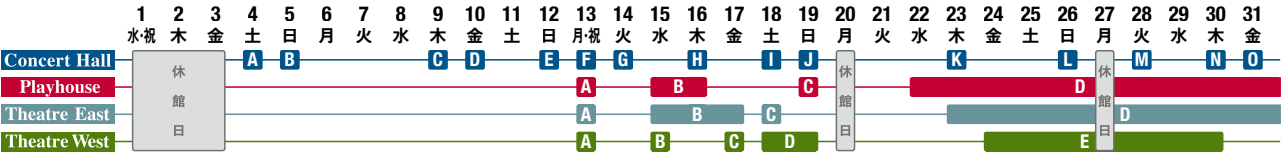


指揮：ラドミル・エリシュカ  
管弦楽：音楽大学フェスティバル・オーケストラ  
(首都圏8音楽大学選抜オーケストラ)  
参加音楽大学：国立音楽大学、昭和音楽大学、  
洗足学園音楽大学、東京音楽大学、  
東京芸術大学、東邦音楽大学、  
桐朋学園大学、武蔵野音楽大学

スメタナ／連作交響詩『わが祖国』から  
「高い城」「モルダウ」「シャルカ」  
ドヴォルザーク／交響曲第9番「新世界より」  
※3月29日(土) 15:00開演 ミュゼ川崎シンフォニーホール

主催：音楽大学オーケストラ・フェスティバル実行委員会  
東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)  
ミュゼ川崎シンフォニーホール(川崎市文化財団グループ)  
助成：公益財団法人ロー・ミュージックファンデーション  
sarah一般社団法人私的録音補償金管理協会  
平成25年度 文化庁 劇場・音楽堂等活性化事業





Concert Hall

**A** 4日(土) 18:00開演

犯罪被害者支援チャリティ音楽祭

出演 石田修一、畠田貴生、桐生智晃(Cond)／柏市立柏高校／東海大学附属高輪台高校／三重県立白子高校  
曲目 未定  
料金 S:2,000円／A:1,800円／B:1,500円  
TEL 犯罪被害者支援チャリティ実行委員会 059-213-8211

**B** 5日(日) 14:00開演

神奈川大学吹奏楽部  
第49回定期演奏会

出演 小澤俊朗(Cond)／神奈川大学吹奏楽部  
曲目 真島俊夫／Lento Lamentoso 三善 晃／魁響の譜  
料金 S:2,000円／A:1,500円／B:1,000円  
TEL 神奈川大学吹奏楽部 045-481-2989

**C** 9日(木) 19:00開演

読売日本交響楽団  
第5回読響メトロポリタン・シリーズ

出演 シルヴァン・カンブルラン(Cond)／ロジェ・ムラロ(Pf)／読売日本交響楽団  
曲目 シューマン／「マンフレッド」序曲、ピアノ協奏曲  
ラヴェル／高雅で感傷的なワルツ、スペイン狂詩曲  
料金 S:7,000円／A:5,000円／B:4,000円／C:3,000円  
TEL 読響チケットセンター 0570-00-4390

**D** 10日(金) 19:00開演

ウィーン・ヨハン・シュトラウス管弦楽団  
ニューイヤー・コンサート2014

出演 ヨハネス・ヴィルトナー(Cond)／ウィーン・ヨハン・シュトラウス管弦楽団  
曲目 シュトラウス／ワルツ「南国のバラ」、  
「美しく青きドナウ」 ほか  
料金 S:8,500円／A:7,000円／B:5,500円／C:4,000円  
TEL コンサート・ドアーズ 03-3544-4577

**E** 12日(日) 14:30開演

日本フィルハーモニー交響楽団  
第208回サンデーコンサート

出演 阪 哲朗(Cond)／木野雅之(Vn)／日本フィルハーモニー交響楽団  
曲目 モーツァルト／「フィガロの結婚」序曲  
シベリウス／ヴァイオリン協奏曲  
ヨゼフ・シュトラウス／鍛冶屋のポリカ  
J.シュトラウスⅡ／ワルツ「芸術家の生涯」  
「こもり」序曲、  
トリッチ・トラッチ・ポリカ、  
美しき青きドナウ  
料金 S:6,500円／A:5,500円／B:4,500円／C:3,500円／  
Ys:1,500円／Gs:3,500円  
TEL 日本フィルサービスセンター 03-5378-5911

**F** 13日(月・祝) Closed・関係者のみ

2014年としま「成人の日のつどい」

**G** 14日(火) 19:00開演

2014都民芸術フェスティバル参加公演  
東京都交響楽団

出演 アンドレ・デ・リッダー(Cond)／堤 剛(Vc)／東京都交響楽団  
曲目 ドヴォルザーク／チェロ協奏曲  
チャイコフスキー／交響曲第4番  
料金 A:3,800円／B:2,800円／C:1,800円／  
学生A:3,000円／学生B:2,200円／学生C:1,400円  
TEL 公益社団法人日本演奏連盟 03-3539-5131

**H** 16日(木) 12:15開演

東京芸術劇場ランチタイム・  
パイプオルガンコンサートVol.103

出演 福本茉莉(Org)  
曲目 シャイデマン／第2施設によるマニフィカト  
ホフハイマー／サルヴェ・レジーナ  
コレア・デ・アラウホ／第2施設による右手のためのティエント  
J.S.バッハ／「わが魂は主をたたう」BWV733 ほか  
料金 【全席自由】500円  
TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

東京芸術劇場ホームページ www.geigeki.jp

お問合せ 東京芸術劇場  
ボックスオフィス 0570-010-296  
BOX 東京芸術劇場ボックスオフィスにてチケットお取り扱いのある公演

2月24日(月)午前0:00～25日(火)午前9:59まで、メンテナンス作業に伴い、東京芸術劇場ボックスオフィスでのチケット予約にかかわる全サービスを一時休止させていただきます。

音楽略号:指揮(Cond)／ソプラノ(Sop)／ヴァイオリン(Vn)／チェロ(Vc)／ピアノ(Pf)／オルガン(Org)／マリンバ(Mar)

**I** 18日(土) 14:00開演

読売日本交響楽団  
第162回東京芸術劇場マチネーシリーズ

出演 下野竜也(Cond)／読売日本交響楽団  
曲目 バッハ(オネゲル編)／前奏曲とフーガBWV545  
バッハ(レーガー編)／「おお人よ、汝の罪の大きいなるを嘆け」BWV622  
バッハ(ホルスト編)／ジーク風フーガBWV577  
バッハ(ラフ編)／「シャコンヌ」BWV1004  
ムソルグスキー(ヘンリー・ウッド編)／組曲「展覧会の絵」  
料金 S:7,000円／A:5,000円／B:4,000円／C:3,000円／ジュニア:1,500円  
TEL 読響チケットセンター 0570-00-4390

**J** 19日(日) 14:00開演

新交響楽団 第224回演奏会

出演 湯浅卓雄(Cond)／安倍圭子(Mar)／新交響楽団  
曲目 黛 敏郎／ルンバ・ラプソディ  
芥川也寸志／エロラ交響曲  
松村禎三／ゲッセマネの夜に  
伊福部昭／オーケストラとマリンバのためのラウダ・コンチェルタータ  
料金 S:3,000円／A:2,500円／B:1,500円  
TEL コンサートイマジン 03-3235-3777

**K** 23日(木) 19:00開演

2014都民芸術フェスティバル参加公演  
東京交響楽団

出演 坂守泰次郎(Cond)／居福健太郎(Pf)／東京交響楽団  
曲目 ワーグナー／楽劇「ニュルンベルクのマイスター・ジンガー」前奏曲  
グリーグ／ピアノ協奏曲  
ドヴォルザーク／交響曲第9番「新世界より」  
料金 A:3,800円／B:2,800円／C:1,800円／  
学生A:3,000円／学生B:2,200円／学生C:1,400円  
TEL 公益社団法人日本演奏連盟 03-3539-5131

**L** 26日(日) 14:00開演

としま区民芸術祭  
豊島区管弦楽団演奏会

出演 和田一樹(Cond)／富永愛子(Pf)／豊島区管弦楽団  
曲目 ムソルグスキー／歌劇「ホヴァンシチーナ」前奏曲  
ラフマニノフ／ピアノ協奏曲第2番  
チャイコフスキー／バレエ音楽「くるみ割り人形」より抜粋  
料金 一般:800円／高校生以下:500円／友の会:500円  
TEL としまみらいチケットセンター 03-3590-5321

**M** 28日(火) Closed・関係者のみ

平成25年度  
板橋区立中学校オーケストラ鑑賞教室

休館日 1日(水・祝)～3日(金)・20日(月)・27日(月)

休館日の施設のご利用案内及びお電話でのお問合せ受付は行っておりません。  
また、館内店舗(一部店舗を除く)は閉店しておりますのでご了承下さい。  
※原則未就学児のご入場はお断りしています。  
※プログラム、出演者等に変更が出る場合がございます。  
※最新情報は、各お問合せ先までご確認ください。

**N** 30日(木) 19:00開演

2014都民芸術フェスティバル参加公演  
日本フィルハーモニー交響楽団

出演 藤岡幸夫(Cond)／萩原麻未(Pf)／日本フィルハーモニー交響楽団  
曲目 モーツァルト／歌劇「ドン・ジョヴァンニ」〈序曲〉、  
ピアノ協奏曲第20番  
シベリウス／交響曲第2番  
料金 A:3,800円／B:2,800円／C:1,800円／  
学生A:3,000円／学生B:2,200円／学生C:1,400円  
TEL 公益社団法人日本演奏連盟 03-3539-5131

**O** 31日(金) 19:00開演

フレッシュ名曲コンサート  
新春 名曲と名花からの誘い

出演 大友直人(Cond)／幸田浩子(Sop)／高橋優介(Pf)／東京交響楽団  
曲目 チャイコフスキー／ピアノ協奏曲 第1番、「ロミオとジュリエット」  
グノー／「ファウスト」第5幕のバレエ音楽より  
〈トロイの娘たちの踊り〉、  
「ロミオとジュリエット」より〈私は夢に生きたい〉  
ブッチーニ／「マノン・レスコー」間奏曲、  
「ジャン・ニスキッキ」より〈私の愛しいお父さん〉  
ヴェルディ／「椿姫」より第1幕への前奏曲  
〈ああ、そは彼の人か〜花から花へ〉  
料金 S:4,500円／A:4,000円／B:3,000円／学生:1,500円／  
S友:4,000円／A友:3,500円／B友:2,500円  
TEL としまみらいチケットセンター 03-3590-5321

Playhouse

**A** 13日(月・祝) 15:30開演

大東文化大学モダンダンス部  
創立35周年記念公演

監督 馬渡照代(部長)  
出演 大東文化大学モダンダンス部員・OB・OG  
料金 【全席自由】前売:1,000円／当日:1,500円  
TEL 大東文化大学モダンダンス部 090-4823-0075

**B** 15日(水)・16日(木)

2014都民芸術フェスティバル参加公演  
現代舞踊公演

振付 菊地尚子／野坂公夫・坂本信子／折田克子  
料金 【全席自由・日時指定】  
4,000円／学生:1,000円(要事前申込)  
TEL 社団法人現代舞踊協会 03-5457-7731

1月	15水	16木
18:30		●
19:00	●	

**C** 19日(日) 10:20開演

東京都特別支援学校  
第22回総合文化祭「舞台芸術・演劇祭」

出演 東京都特別支援学校7校  
料金 【全席自由】入場無料  
TEL 東京都教育庁指導部管理課 03-5321-1111内線53-715

**D** 22日(水)～2月4日(火)

ミュージカル  
シャーロックホームズ～アンダーソン家の秘密～

脚本・作詞 ノ・ウソン 音楽 チェ・ジョンウン  
演出 板垣恭一 訳詞 森雪乃丞 上演台本 中谷まゆみ  
出演 橋本さとし／一路真輝／浦井健治／昆 夏美／石井一彰／  
宇野まり絵／竹下宏太郎／コング桑田／大澄賢也  
料金 【全席指定】S:10,500円／A:7,350円  
TEL 東宝芸能 03-3504-2011

1・2月	22水	23木	24金	25土	26日	27月	28火	29水	30木	31金	1土	2日	3月	4火
12:30				●	●						●	●		
13:30			●			休演	●	●	●				●	●
17:30				●										
19:00	●	●							●	●			●	

Theatre East

**A** 13日(月・祝) 18:00開演

勅使川原三郎 U18ダンスワークショップ・プロジェクト  
デモンストレーション公演「今、何してるの?」

監督・演出 勅使川原三郎  
出演 U18ダンスワークショップ・プロジェクト参加者  
料金 【全席自由】1,000円  
TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

**B** 15日(水)～17日(金) 19:00開演

芸劇+トーク 朗読「東京」

演出 15日:千葉雅子／16日:寺十 吾／17日:江本純子  
料金 【全席指定】一般:3,000円／65歳以上割引:2,500円／  
25歳以下割引:2,000円／高校生割引:1,000円  
※65歳以上、25歳以下、高校生割引チケットは、東京芸術劇場ボックスオフィスにて、前売のみ取扱い。(枚数限定・要証明書)  
※障害をお持ちの方:割引料金にてご観劇いただけます。詳しくは劇場ボックスオフィスまたは劇場HPまで。  
TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

**C** 18日(土) 14:00開演

芸劇+トーク 異世代作家リーディング  
「自作自演」〈第8回〉

出演 高橋源一郎×藤田貴大 トーク同着手 徳永京子  
料金 【全席指定】一般:3,000円／65歳以上割引:2,500円／  
25歳以下割引:2,000円／高校生割引:1,000円  
※65歳以上、25歳以下、高校生割引チケットは、東京芸術劇場ボックスオフィスにて、前売のみ取扱い。(枚数限定・要証明書)  
※障害をお持ちの方:割引料金にてご観劇いただけます。詳しくは劇場ボックスオフィスまたは劇場HPまで。  
TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

Theatre West

**A** 13日(月・祝) 13:00開演

将軍乃木希典

料金 【全席自由】前売・当日:4,000円／小中学生:500円  
TEL 一般社団法人日本吟刺詩舞道宗家連盟 03-3976-3312

**B** 15日(水) 18:30開演 予定

平野啓子語りの世界 絆

料金 【全席自由】500円  
TEL オフィスエイワン 042-363-4689

**C** 17日(金) 13:30開演

朗読がたりの会「The・瑠璃」第17回

料金 【全席自由】前売・当日:1,000円  
TEL 瑠璃の会 048-887-6129

**D** 18日(土)・19日(日)

芸劇落語会

料金 【全席自由】前売:1,500円／  
当日:2,000円  
TEL 公益社団法人落語芸術協会 03-5909-3080

1月	18土	19日
13:30		●
18:30	●	

**E** 24日(金)～30日(木)

劇団山の手事情社公演 ドン・ジュアン

作 モリエール 構成・演出 安田雅弘  
出演 山本芳郎／浦 弘毅／倉品淳子／山口笑美／川村 岳 ほか  
料金 【全席指定】前売:4,500円／当日:5,000円／ペア・高校生以下チケット有  
TEL 劇団山の手事情社 03-5760-7044

1月	24金	25土	26日	27月	28火	29水	30木
14:00	●	●	●	休演		●	●
19:30	●	●			●	●	



	1 土	2 日	3 月	4 火	5 水	6 木	7 金	8 土	9 日	10 月	11 火	12 水	13 木	14 金	15 土	16 日	17 月	18 火	19 水	20 木	21 金	22 土	23 日	24 月	25 火	26 水	27 木	28 金
Concert Hall	A	B	C					D					E															
Playhouse		A						B						C									D					
Theatre East		A		B				C																				
Theatre West		A	B						C																			

Concert Hall 音楽略号:指揮(Cond)/ソプラノ(Sop)/メゾ・ソプラノ(M.Sop)/アルト(Alt)/テノール(Ten)/カウンター・テノール(C-Ten)/バス(Bass)/バリトン(Bar)/

**A** 1日(土) 14:00開演 BOX

東京芸術劇場Presents  
クラシカル・プレイヤーズ東京 演奏会

出演 有田正広(Cond & Cemb)/宇治川朝政(Rec)/堂阪清高(Fg)/  
ジャン=フィリップ・メルカールト(Org)/クラシカル・プレイヤーズ東京  
曲目 ヴィヴァルディ『調子の靈感』Op.3から  
第10番4つのヴァイオリンのための協奏曲短調RV580  
テレマン/リコーダーとファゴットのための二重協奏曲長調TWV52.F1  
C.PEツッパ/オルガン協奏曲長調Wq.34, H.444 ※エマヌエル・バウ生誕300年記念  
J.S.バッハ/管弦楽組曲第3番二長調BWV1068  
料金 S:4,000円/A:3,000円/B:2,000円  
TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

**B** 2日(日) 14:00開演 BOX

地雷で傷ついたアフガニスタンの子供たちに  
車椅子を贈るベネフィットコンサート PART12

出演 ジェフリー・リンク(Cond)/中島ゆみ子(Vn)/エリーク・ウィリアムス(Vc)/  
小村朋代(Sop)/増田弥生(Alt)/前田ヒロミヅ(Ten)/大井哲也(Bass)/  
オトリオシンフォニカJAPAN/東京ライエンコーア/東京オトリオ研究会  
曲目 ブラムス/ヴァイオリンとチェロのための二重協奏曲  
ジェンキンス/平和への道程  
料金 SS:6,000円/S:5,000円/A:4,000円/B:3,000円  
TEL カンマーザール 042-522-3931

**C** 4日(火) 19:00開演 BOX

2014都民芸術フェスティバル参加公演  
読売日本交響楽団

出演 川瀬賢太郎(Cond)/志茂美都世(Vn)/読売日本交響楽団  
曲目 ペルリオーズ/序曲「ローマの謝肉祭」、幻想交響曲  
メンデルスゾーン/ヴァイオリン協奏曲  
料金 A:3,800円/B:2,800円/C:1,800円/  
学生A:3,000円/学生B:2,200円/学生C:1,400円  
TEL 公益社団法人日本演奏連盟 03-3539-5131

Playhouse

**A** ~4日(火)

ミュージカル  
シャーロックホームズ  
~アンダーソン家の秘密~

脚本・作詞 ノ・ウソン  
音楽 チェ・ジョンゴン 演出 板垣恭一  
訳詞 森雪乃丞 上演台本 中谷まゆみ  
出演 橋本さとし/一路真輝/浦井健治/昆 夏美/石井一彰/  
宇野まり絵/竹下宏太郎/コング桑田/大澄賢也  
料金 S:10,500円/A:7,350円  
TEL 東宝芸能 03-3504-2011

2月	1 土	2 日	3 月	4 火
12:30	●	●		
13:30			●	●
17:30	●			
19:00			●	

**B** 7日(金)~11日(火・祝)

テレビ朝日 なんでも!クラシック 2014

TEL チケットスペース 03-3234-9999(月~土10:00-12:00、13:00-18:00)

7日(金) 11:00開演  
ヴァイオリンってなに? キッズから“はじめる”クラシック  
~5歳以下は550円コンサート~

出演 奥村 愛(Vn・お話)/加藤昌則(Pf)  
料金 5歳以下:550円/6歳以上:2,550円

7日(金) 15:30開演  
ヴァイオリンってなに? ミドルエイジから“はじめる”クラシック  
~55歳以上は550円コンサート~

出演 奥村 愛(Vn・お話)/加藤昌則(Pf)  
料金 55歳以上:550円/54歳以下:2,550円

8日(土) 13:00開演

ピアノってなに? キッズから“はじめる”クラシック  
~5歳以下は550円コンサート~

出演 仲道祐子(Pf・お話)  
料金 5歳以下:550円/6歳以上:2,550円

8日(土) 15:00開演  
ピアノってなに? ミドルエイジから“はじめる”クラシック  
~55歳以上は550円コンサート~

出演 仲道祐子(Pf・お話)  
料金 55歳以上:550円/54歳以下:2,550円

9日(日) 11:00開演  
歌ってなに? キッズから“はじめる”クラシック  
~5歳以下は550円コンサート~

出演 佐野成宏(Ten・お話)/佐藤正浩(Pf)  
料金 5歳以下:550円/6歳以上:2,550円

東京芸術劇場ホームページ www.geigeki.jp

お問合せ 東京芸術劇場  
ボックスオフィス 0570-010-296

BOX 東京芸術劇場ボックスオフィスにてチケットお取り扱いのある公演

2月24日(月)午前0:00~25日(火)午前9:59まで、メンテナンス作業に伴い、東京芸術劇場ボックスオフィスでのチケット予約にかかわる全サービスを一時休止させていただきます。

コーラス(Chor)/ヴァイオリン(Vn)/ヴィオラ(Vla)/チェロ(Vc)/コントラバス(Cb)/オーボエ(Ob)/ファゴット(Fg)/リコーダー(Rec)/トロンボーン(Trb)/ピアノ(Pf)/チェンバロ(Cemb)/オルガン(Org)

**E** 13日(木) 19:30開演 BOX

東京芸術劇場ナイトタイム・パイプオルガンコンサート Vol.3

出演 平井靖子(Org)/青木洋也(C-Ten)/  
富本泰成・根岸一郎(Ten)/藪内俊弥(Bass)  
曲目 ギラン/マニフィカトのための第4施法の組曲  
J.S.バッハ/トッカータとフーガ ドリア調BWV538  
料金 【全席指定】1,000円  
TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

**F** 15日(土) 14:00開演 BOX

読売日本交響楽団  
第163回東京芸術劇場マチネーシリーズ

出演 クレメンス・シュルト(Cond)/ソ・ン・ヨルム(Pf)/読売日本交響楽団  
曲目 チャイコフスキー/イタリヤ奇想曲、ピアノ協奏曲第1番  
交響曲第5番  
料金 S:7,000円/A:5,000円/B:4,000円/C:3,000円/ジュニア:1,500円  
TEL 読響チケットセンター 0570-00-4390

**G** 16日(日) 14:00開演 BOX

東京佼成ウインドオーケストラ 第118回定期演奏会

出演 川瀬賢太郎(Cond)/山本浩一郎(Trb)/東京佼成ウインドオーケストラ  
曲目 マクベス/マスケ マッキー/Harvest Concerto for Trombone  
マーラー/交響曲第1番「巨人」  
料金 S:5,000円/A:4,000円/B:3,000円/C:1,000円[当日各席500円増し]  
TEL 東京佼成ウインドオーケストラ事務局 03-5341-1155

**H** 18日(火) 14:00開演 楽友会 コンサートホール・エントランス(5階)

東京芸術劇場ティータイム・コンサート Vol.4

出演 桐朋学園大学古楽器専攻生による古楽オーケストラ  
曲目 J.S./バッハ/管弦楽組曲第2番口短調BWV1067 ほか  
料金 【全席自由】入場無料(当日整理券配布・約150席)  
TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

9日(日) 13:00開演

歌ってなに? ミドルエイジから“はじめる”クラシック  
~55歳以上は550円コンサート~

出演 佐野成宏(Ten・お話)/佐藤正浩(Pf)  
料金 55歳以上:550円/54歳以下:2,550円

10日(月) 10:45開演  
ギターってなに? キッズから“はじめる”クラシック  
~5歳以下は550円コンサート~

出演 大萩康司(Gt・お話)/松尾俊介(Gt・お話)  
料金 5歳以下:550円/6歳以上:2,550円

10日(月) 12:45開演  
ギターってなに? ミドルエイジから“はじめる”クラシック  
~55歳以上は550円コンサート~

出演 大萩康司(Gt・お話)/松尾俊介(Gt・お話)  
料金 55歳以上:550円/54歳以下:2,550円

**C** 7日(金)~9日(日) BOX

芸劇トーク 朗読「東京」

演出 潮田なつき  
料金 【全席指定】一般:3,000円/65歳以上割引:2,500円/25歳以下割引:2,000円/高校生割引:1,000円  
25歳以下割引:2,000円/高校生割引:1,000円  
※65歳以上、25歳以下、高校生割引チケットは、東京芸術劇場ボックスオフィスにて、前売のみ取扱い。(枚数限定・要証明書)  
※障害をお持ちの方:割引料金にてご観劇いただけます。詳しくは劇場ボックスオフィスまたは劇場HPまで。  
TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

**C** 7日(金)~16日(日) BOX

2014都民芸術フェスティバル参加公演  
Project Nyx 第11回公演「宝島」

作 寺山修司 構成・美術 宇野亜喜良 演出 金守珍  
出演 未唯mie/蘭 妖子/有賀ひろみ/小谷佳加/水嶋カンナ ほか  
料金 【全席指定】前売:4,500円/当日:5,000円/学生:3,000円(限定数)/親子:6,000円(限定数)  
TEL プロジェクト・ニクス 03-6312-7031

**I** 20日(木) 18:30開演 BOX

東京芸術劇場シアターオペラvol.7  
J.シュトラウスⅡ 喜歌劇「こもり」全幕

出演 ハンス・リヒター(指揮)/東京交響楽団/  
ベーター・ボーディング(Bar)/小川里美(Sop)/小林沙羅(Sop)/  
セバ스티アン・ハウプマン(Bar)/新海康仁(Ten)/  
妻屋秀和(Bass)/タマラ・グーラ(M.Sop)/ジョン・健・ヌツツオ(Ten)/  
西村雅彦(俳優)/メラニー・ホリディ(2幕のスペシャルゲスト)/  
武蔵野音楽大学(Chor)  
曲目 J.シュトラウスⅡ/喜歌劇「こもり」全幕  
料金 S:10,000円/A:8,000円/B:6,000円/C:4,000円/  
D:3,000円/E:1,500円  
TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

**J** 21日(金) 19:00開演 BOX

2014都民芸術フェスティバル参加公演  
新日本フィルハーモニー交響楽団

出演 下野竜也(Cond)/小山実稚恵(Pf)/新日本フィルハーモニー交響楽団  
曲目 ヴェルディ/歌劇「運命の力」序曲  
ラフマニノフ/ピアノ協奏曲第2番  
ムソルグスキー(ラヴェル編)/組曲「展覧会の絵」  
料金 A:3,800円/B:2,800円/C:1,800円/  
学生A:3,000円/学生B:2,200円/学生C:1,400円  
TEL 公益社団法人日本演奏連盟 03-3539-5131

**K** 22日(土) 14:30開演 BOX

東京ニューシティ管弦楽団 第92回定期演奏会

出演 内藤彰(Cond)/ヤンネ・メルタネン(Pf)/東京ニューシティ管弦楽団  
曲目 ~ブルックナー初演シリーズ~  
グリーグ/ピアノ協奏曲 ブルックナー/交響曲第6番  
料金 S:6,000円/A:4,500円/B:3,000円/C:2,000円/  
R(リラクスシート):3,000円/学生(S除く):半額/  
小中高生(S除く、保護者同伴):1,000円/シニア(60以上):10%引き  
TEL 一般社団法人東京ニューシティ管弦楽団事務局 03-5933-3266

10日(月) 19:00開演

モルゴーア・カルテット〜エイズ“危機”全曲版ほか初披露〜

出演 モルゴーア・カルテット/荒井英治(Vn)/  
戸澤哲夫(Vn)/小野富士(Vla)/藤森亮一(Vc)  
料金 4,000円

11日(火・祝) 11:00開演  
ザ・ビートルズ シンフォニック・コンサート  
~オーケストラで聴くビートルズ名曲~

出演 井田勝大(Cond)/シアターオーケストラトーカーキョー  
料金 6,500円

休館日 24日(月)・25日(火)

休館日の施設のご利用案内及びお電話でのお問合せ受付は行っておりません。  
また、館内店舗(一部店舗を除く)は閉店しておりますのでご了承下さい。  
※原則未就学児のご入場はお断りしています。  
※プログラム、出演者等に変更が出る場合がございます。  
※最新情報は、各お問合せ先までご確認ください。

**L** 23日(日) 18:00開演 無料

創価グローリア吹奏楽団 第28回定期演奏会

出演 中村睦郎(Cond)/創価グローリア吹奏楽団  
曲目 未定  
料金 無料(事前申込みによる全席指定)  
TEL 創価学会妙音会館 03-3363-9671

**M** 26日(水) Closed・関係者のみ

第27回中学合唱コンクール

**N** 27日(木) 19:00開演 BOX

読売日本交響楽団 第6回読響メトロポリタン・シリーズ

出演 山田和樹(Cond)/読売日本交響楽団  
曲目 ベートーヴェン/交響曲第3番「英雄」  
R.シュトラウス/交響詩「英雄の生涯」  
料金 S:7,000円/A:5,000円/B:4,000円/C:3,000円  
TEL 読響チケットセンター 0570-00-4390

**O** 28日(金) 18:00開演 BOX

東京ニューシティ管弦楽団

夢実現コンサート2014~子どもたちの未来のために~

出演 小田全宏(Cond)/西丸野咲月(Pf)/  
東京ニューシティ管弦楽団 ほか  
曲目 オーディション合格者による演奏(4曲)  
小田全宏/交響曲「富士」  
モーツァルト/ピアノ協奏曲第26番「戴冠式」  
シークレットゲストによるオーケストラとの共演  
料金 プラチナシート:100,000円/SS:10,000円/  
S:8,000円/A:5,000円/B:3,000円  
TEL 一般社団法人東京ニューシティ管弦楽団事務局 03-5933-3266

**C** 14日(金)~16日(日) BOX

DAZZLE 第8回公演  
「二重/裁く者」 Produced by Parco

演出・脚本・演出 DAZZLE  
料金 【全席指定】S:5,500円/プレミアム席:7,000円  
TEL チケットスペース 03-3234-9999(月~土10:00-12:00、13:00-18:00)

**D** 22日(土) 13:00開演・18:00開演 BOX

石見神楽東京公演

出演 石見神楽竜山社中 ほか  
料金 【全席指定】【前売】SS:6,000円/S:4,500円/A:3,500円/  
【当日】SS:6,500円/S:5,000円/A:4,000円  
TEL 浜田市観光協会 0855-24-1085(10:00~18:00)

2月	13 木	14 金	15 土	16 日	17 月	18 火	19 水	20 木	21 金	22 土	23 日
13:00			●	○	★						
18:00			●							○	○
19:00	●							○	○		

●=穂谷友子 ○=奥村佳恵  
★=穂谷友子バージョン追加公演  
◎=観覧席をお持ちの方に字番号提供/目の不自由な方への舞台説明あり

Theatre West

**A** 1日(土)・2日(日) BOX

第31回 岡田昌己スペインを踊る

脚本・演出・出演 岡田昌己 ゲスト ベドロ・コルドバ(舞踊)  
料金 【全席指定】10,000円  
TEL 株式会社インターミュージズ・トーキョウ 03-3475-6870

**B** 3日(月) 18:30開演

芸劇落語会

料金 【全席指定】前売:2,000円  
TEL 公益社団法人落語芸術協会 03-5909-3080

2月	1 土	2 日
16:00		●
18:00	●	



Gallery 1			
1	<b>5日(日)～8日(水)</b> <b>無料</b> 静書会書道展 TEL 高橋 03-3358-4786	<b>11日(土)～15日(水)</b> <b>無料</b> Gallery1・2同時開催 東京都特別支援学校第22回 総合文化祭展示部門展覧会 TEL 東京都教育庁指導部管理課 03-5321-1111	<b>17日(金)～19日(日)</b> <b>無料</b> 錦花池坊創流80周年記念 「いけばな錦花展-2014-」 TEL 加藤 04-2925-4271
2	<b>12日(水)～16日(日)</b> <b>無料</b> Gallery1・2同時開催 十人十色百想百舞 栄美子戸田ローブと ニューゼファースヴォーグキルト塾キルト展 TEL ニューゼファース事務局 三沢 042-491-0797	<b>19日(水)～23日(日)</b> <b>無料</b> Gallery1・2 Atelier East・West同時開催 尚美学園大学 卒業制作展 TEL 尚美学園大学 卒展2014実行委員会 049-246-2700	<b>27日(木)～3月2日(日)</b> <b>無料</b> 玉川大学芸術学部ビジュアル・アーツ学科 卒業プロジェクト展2014 TEL 林 042-739-8082
3	<b>～2日(日)</b> <b>無料</b> 玉川大学芸術学部ビジュアル・アーツ学科 卒業プロジェクト展2014 TEL 林 042-739-8082	<b>4日(火)～6日(木)</b> <b>無料</b> Gallery1・2同時開催 ヴォーグキルト塾 小関鈴子クラス合同作品展 TEL ヴォーグキルト塾 03-5261-5632	<b>7日(金)～10日(月)</b> <b>無料</b> Gallery1・2同時開催 第27回 全国シルバー・わかば書道展 TEL 田中 03-3462-5251
		<b>11日(火)～16日(日)</b> <b>無料</b> 東日本大震災・復興の折り展 TEL 国民みらい出版 03-3556-3771	<b>21日(金・祝)～30日(日)</b> <b>無料</b> JATDT舞台美術展2014「Pの間」 問じる～舞台美術のPLAY・PLAN・PLEASURE TEL 日本舞台美術家協会 03-6300-9104

Gallery 2			
1	<b>11日(土)～15日(水)</b> <b>無料</b> Gallery1・2同時開催 東京都特別支援学校第22回 総合文化祭展示部門展覧会 TEL 東京都教育庁指導部管理課 03-5321-1111	<b>18日(土)</b> <b>無料</b> 東京芸術劇場×立教大学「池袋学」開講記念シンポジウム 「池袋学」への招待 ～ひと、アート、環境から池袋を考える～ TEL 東京芸術劇場 事業企画課 事業調整係 03-5391-2116	
2	<b>12日(水)～16日(日)</b> <b>無料</b> Gallery1・2同時開催 十人十色百想百舞 栄美子戸田ローブと ニューゼファースヴォーグキルト塾キルト展 TEL ニューゼファース事務局 三沢 042-491-0797	<b>19日(水)～23日(日)</b> <b>無料</b> Gallery1・2 Atelier East・West同時開催 尚美学園大学 卒業制作展 TEL 尚美学園大学 卒展2014実行委員会 049-246-2700	
3	<b>4日(火)～6日(木)</b> <b>無料</b> Gallery1・2同時開催 ヴォーグキルト塾 小関鈴子クラス合同作品展 TEL ヴォーグキルト塾 03-5261-5632	<b>7日(金)～10日(月)</b> <b>無料</b> Gallery1・2同時開催 第27回 全国シルバー・わかば書道展 TEL 田中 03-3462-5251	

Atelier East			
2	<b>7日(金)～11日(火・祝)</b> <b>無料</b> ゆび編み作品展展示会 TEL 篠原 03-5935-9011	<b>13日(木)～17日(月)</b> <b>無料</b> Atelier East・West同時開催 東京朝鮮中高級学校 美術部展 TEL 崔 090-2940-9491	<b>19日(水)～23日(日)</b> <b>無料</b> Gallery1・2 Atelier East・West同時開催 尚美学園大学 卒業制作展 TEL 尚美学園大学 卒展2014実行委員会 049-246-2700
3	<b>～16日(日)</b> <b>無料</b> Atelier East・West同時開催 Moving Distance 私たちの記憶を、存在を巡って。 TEL 東京芸術劇場 事業企画課 事業調整係 03-5391-2116	<b>19日(水)～21日(金・祝)</b> <b>無料</b> 古流いけばな作品展 TEL 栗原 03-5998-6474	<b>22日(土)～26日(水)</b> <b>無料</b> 保谷フォトクラブ写真展 TEL 関谷 090-1120-8279
		<b>28日(金)～3月16日(日)</b> <b>無料</b> Atelier East・West同時開催 Moving Distance 私たちの記憶を、存在を巡って。 TEL 東京芸術劇場 事業企画課 事業調整係 03-5391-2116	<b>27日(木)～30日(日)</b> <b>無料</b> 第4回雑司ヶ谷 デジカメクラブ作品展 TEL 上條 03-3918-3282

Atelier West			
2	<b>7日(金)～11日(火・祝)</b> <b>無料</b> 東京地下鉄親交会写真部展 「My写真館9」 TEL 内村 080-5536-4205	<b>13日(木)～17日(月)</b> <b>無料</b> Atelier East・West同時開催 東京朝鮮中高級学校 美術部展 TEL 崔 090-2940-9491	<b>19日(水)～23日(日)</b> <b>無料</b> Gallery1・2 Atelier East・West同時開催 尚美学園大学 卒業制作展 TEL 尚美学園大学 卒展2014実行委員会 049-246-2700
3	<b>～16日(日)</b> <b>無料</b> Atelier East・West同時開催 Moving Distance 私たちの記憶を、存在を巡って。 TEL 東京芸術劇場 事業企画課 事業調整係 03-5391-2116	<b>19日(水)～23日(日)</b> <b>無料</b> 第41回伊藤薫朔賞 ファイナリスト舞台美術展 TEL 日本舞台美術家協会 03-6300-9104	<b>25日(火)～30日(日)</b> <b>無料</b> 第47回なるほど展 TEL 社団法人発明家協会 03-3812-9661

## 2014 都民芸術フェスティバル

1月11日(土)～3月30日(日) コンサートホール、プレイハウス、シアターウエスト ほか

詳細はP9～14へ



### ・オーケストラ・シリーズNo.45

1月14日(火) 23日(木) 30日(木)  
2月4日(火) 21日(金)  
3月9日(日) 13日(木) 26日(水) コンサートホール

### ・現代舞踊公演

1月15日(水)～16日(木) プレイハウス

### ・Project Nyx 第11回公演『宝島』

2月7日(金)～16日(日) シアターウエスト

### ・第45回東京都民俗芸能大会

3月1日(土)～2日(日) プレイハウス

## オーケストラから伝統芸能まで、東京の舞台芸術のスケール感を体験！

「都民芸術フェスティバル」は、東京を拠点に活躍する芸術団体や芸術家の舞台作品を、都内各所の劇場やホールで毎年1月から3月にかけて都民の皆様を紹介する文化事業。東京芸術劇場でも、在京8楽団が日替わりで演奏するオーケストラ・シリーズをはじめ、都内各地で伝承される民俗芸能を集めた東京都民俗芸能大会やモダンダンスの振付家の作品を紹介する現代舞踊公演などを開催しています。今回は個性派美女劇で注目

を集める演劇ユニットProject Nyxによる寺山修司作 冒険ファンタジー歌劇『宝島』も上演！ 他の会場でも、オペラやバレエ、能や邦楽や日本舞踊など、各分野の現在を知ることができる公演が目白押しです。ぜひ公式サイトでチェックしてみてください。

http://tomin-fes.com/

主催：東京都／公益財団法人東京都歴史文化財団

## Moving Distance

2月28日(金)～3月16日(日) アトリエイースト、アトリエウエスト ほか

詳細はP15へ

## 私たちの記憶を、存在を巡って。

東日本大震災後、宮城県山元町で回収・洗浄された写真があります。この写真が、私たちに訴えかけるのは、震災の記憶であると同時に、写真というメディアがもっているさまざまな特性です。デジタルメディアの登場によって、私たちの生活は大きく変わりました。便利になったこともあり、また一方で失われていくものもあります。このプログラムでは、山元町で回収された写真を展示し、またその写真をインスピレーションに、建築・漫画・文学・音楽・写真・映像・哲学・舞台芸術などさまざまな分野のアーティストが作品を発表します。その展示や作品は、アートを通して私たちの「存在」や「記憶」について考えるきっかけとなるでしょう。

参加作家：和合亮一（詩人）、卯月妙子（漫画家）、橋本和正（音楽家）、  
Lost&Found Project（写真）、world's end girlfriend（音楽） ほか

お問合せ | 東京芸術劇場 事業調整係 03-5391-2116

主催：東京芸術劇場（公益財団法人東京都歴史文化財団）／豊島区 助成：平成25年度文化庁地域発・文化芸術創造発信イニシアチブ

## JATDT舞台美術展2014「Pの間」問じる～舞台美術のPLAY・PLAN・PLEASURE

3月21日(金・祝)～30日(日) ギャラリー 1

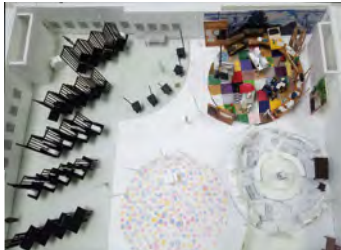
詳細はP15へ



## 舞台美術のすべてがここに！

舞台を鮮やかに彩る舞台空間や衣裳はどのように生み出されるのか？

この展覧会では、舞台美術の創作過程を3つのキーワード＝PLAY（発想）・PLAN（共有）・PLEASURE（喜び）から紐解きます。日本舞台美術家協会会員による最新の舞台美術の模型、写真、イラスト、衣裳など200点以上を展示。また、舞台を創る多彩なクリエイターを招いての舞台創り座談会や、大人も子供も楽しめる舞台美術ワークショップも開催します。



今回(2014年)の  
展示プラン模型

2007年展示会場風景



主催：日本舞台美術家協会 後援：東京芸術劇場（公益財団法人東京都歴史文化財団）



芸劇eyes番外編 第2弾 '13年9月12日(木)～16日(月・祝)

## 『God save the Queen』シアターイースト

「メトロ」 うさぎストライプ

作・演出:大池容子 出演:亀山浩史(うさぎストライプ)、李そじん、緑川史絵(青年団)、水野拓(青年団)

「クイズ君、最後の2日間」 タカハ劇団

作・演出:高羽彩 出演:橋本淳、伊藤直人

「蒸発」 鳥公園

作・演出:西尾佳織 出演:森すみれ(鳥公園)、野津あおい(サンプル)

「どこ立ってる」 ワワフラミンゴ

作・演出:鳥山フキ 出演:北村恵、菅谷和美(野鳩)、多賀麻美、名児耶ゆり、原口茜

「しーすーQ」 Q

作・演出:市原佐都子 出演:飯塚ゆかり、坂口真由美、吉岡紗良、吉田聡子

主催:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)  
東京都/東京文化発信プロジェクト室(公益財団法人東京都歴史文化財団)  
\*東京文化発信プロジェクト事業

## 台頭する若手女性劇作家の新感覚を目の当たりに

9月12日(木)から16日(月・祝)までシアターイーストで行なわれた『God save the Queen』(以下、『GsQ』)は、日本のみならず世界中でこれまでに行なわれてきた演劇イベントの中でも、きわめて稀少なものだったと言える。なぜなら参加した5団体すべて、作・演出家が女性の若手劇団だったからだ。26歳～36歳の女性が率いる、活動歴10年以下の劇団で、なおかつ(これが1番重要なのだが)、新しい才能として注目すべき人達の作品を、一挙に上演したのが『GsQ』だった。

芸劇には「芸劇eyes」という企画がある。観客には台頭著しい新しい才能を紹介し、劇団には幅広い観客と出会ってもらうことを主旨として2009年にスタートし、順調に浸透してきた。『GsQ』は、さらに若い才能をショーケース形式で紹介する「芸劇eyes番外編」の第2弾で、一昨年の第1回「20年安泰。」と同様、各劇団が20分の持ち時間で、新作を上演する形を取った。

参加劇団は、うさぎストライプ、タカハ劇団、鳥公園、ワワフラミンゴ、Q。うさぎストライプの『メトロ』は、地下鉄サリン事件を遠景に、言いたいことを言えた人、言えなかった人、聞いたのに忘れてしまった人などの思いの交差を、全力ダッシュや壁を押すなどストーリーと関係のない動きを掛け合わせることで一層鮮やかに見せた。タカハ劇団の『クイズ君、最後の2日間』は、インターネットの掲示板に自殺予告を書き込んだ人物とそれに

反応したネット住人達のやり取りを軸にしながらも、合間に挿入される政治用語を言い合うテニスのラリーが、実は見えないボールを使っていたというところにさらなる社会への斬り込みがあった。鳥公園の『蒸発』は、近所のニート男性を双眼鏡で観察して勝手に解説をつける女性ニートの妄想と、その妄想にさらに乗っかるルームメイトの会話に、何を糾弾しても尻すぼみしてヌルヌルと日常を続ける現代人の気味悪さを静かに告発した。ワワフラミンゴの『どこ立ってる』は、人とたぬきが普通に会話する不思議な世界で、大きな欠点と小さな魅力を抱えてのびのびと生きる人達をユーモラスに紹介した。Qの『しーすーQ』は、回転寿司で働く3人と、魚が嫌いなのにデートで寿司屋に連れて来られた女性それぞれの生い立ちや性癖を、映像も使いながら生々しさと軽さで描いた。

5作品に共通点を見出す人、それぞれの個性を感じた人、「女性っぽい」、逆に「ノージェンダーに感じた」と言う人など、非常に幅広い感想が寄せられたが、これまでの女性劇作家作品に多かった恋愛やトラウマとは全く違う、家族や異性や社会に対して新しい感覚を持つ作品が並んだことは大半の人が感じ取ってくれただろう。

こうした感覚をフォローするため、アフタートークゲストには、豊崎由美(書評家、フリーライター)、町田広美(放送作家、コラムニスト)、湯山玲子(著述家)、本谷有希子(劇作



撮影:引地信彦

家、演出家、小説家)、小田島久恵(音楽ライター)と、言葉を使って活躍する女性を幅広いジャンルから招いた。「今、演劇がこんなに刺激的になっているなんて」と驚く声も多数聞かれ、公演が終わってからの展開も期待できるイベントとなった。

文:徳永京子

日本・ベネズエラ外交樹立75周年記念事業 '13年10月10日(木)～12日(土)

## 『エル・システマ・フェスティバル2013 in TOKYO』コンサートホール ほか

コンサート

指揮:ディートリヒ・バレーデス(10/10、11)

レオン・ポットスタイン(10/12)

管弦楽:エル・システマ・ユース・オーケストラ・オブ・カラカス

コントラバス:エディクソン・ルイス(10/10)

クラリネット:カリム・ソマサ(10/10)

ピアノ:萩原麻未(10/11)

各種ワークショップ、シンポジウムも同時開催

ワークショップ●ペーパーヴァイオリンを作ろう!(10/11、12)●12時間でシンフォニーの演奏に挑戦!(10/10、11、12)●エディクソンと話そう!(10/10) シンポジウム●エル・システマと社会問題(10/10) ●日本におけるエル・システマ(10/12) ●ホワイトハンド・コーラス(10/12)

主催:駐日ベネズエラ・ボリバル共和国大使館/東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)/一般社団法人エル・システマ ジャパン 招聘・制作:KAJIMOTO

## エル・システマ 未来を担う子どもたちのために

家庭の経済状況に関わらず、すべての子が無償で音楽教育が受けられる、南米ベネズエラ発の音楽教育「エル・システマ」。子どもたちはオーケストラのなかで音楽を楽しみ、協調性や規律を身に着け、目標に果敢に取り組みながらや人生に希望や誇りをもてるよう育まれている。同国では現在約40万人の子どもに提供され、世界50カ国で、各国の実情に合わせた形で展開されている。

若手指揮者グスターボ・ドウダメルに代表される世界的な音楽家を輩出していることでも注目が集まっており、今年のザルツブルク音楽祭がエル・システマの特集プログラムを組んだほか、世界各地で、彼らを紹介する大規模な特別イベントが開催されてきている。

こうした環境の中、日本・ベネズエラ外交樹立75周年記念事業として、東京芸術劇場、シモン・ボリバル音楽財団、駐日ベネズエラ・ボリバル共和国大使館、そして一般社団法人エル・システマ ジャパンにより、日本で初めてエル・システマ・フェスティバル in TOKYOが開催された。「エル・システマ・ユース・オーケストラ・オブ・カラカス」(以下、EYOC)のコンサートを中心に、エル・システマに関するシンポジウムや、実際のプログラムを体験できるワークショップが濃縮された3日間であった。

EYOCのコンサートは、その大規模編成の魅力を十二分に感じさせるものであった。チャイコフスキー、ショスタコーヴィチでは若

さ溢れる圧倒的なパワーを持ちながら一糸乱れぬ滑らかな音に感動したという多くの声を聞いた。また、カラカスでCD録音を一緒にした新進気鋭のピアニスト萩原麻未とのグreekにも、若手同士の共演とは思えない円熟味を帯びた哀愁を感じさせられる余裕を感じた。圧巻は、ガラ・コンサート(10日)におけるマッティンソン「コントラバス協奏曲」。史上最年少でベルリン・フィルに入団したエル・システマ出身コントラバス奏者、エディクソン・ルイスとEYOCのメンバーとの兄弟愛に満ちた甘美な旋律。思わず涙する人が多くみられ、ご臨席された皇后陛下も最後の団員の一人が舞台から去るまでスタンディングオベーションをなさっていた。

各種シンポジウム、ワークショップも大盛況で、満足だったという感想が多く寄せられた。なかなか一言で説明することが難しいエル・システマの魅力をまさに体感してもらえたように思う。

エル・システマ ジャパンが現在取り組んでいるのは、すべての子どもに届くよう、行政と連携した音楽教育の仕組み作りである。震災、原発事故で心に傷を負った子どもたちの心の復興に貢献すべく、福島県相馬市で指導体制や基盤づくりに奮闘している。保護者や地域社会への手ごたえも感じられ始めている。

エル・システマを必要としている子どもたちは被災地だけではなくと私たち考える。



10月11日 コンサートホール演奏風景



ワークショップ「エディクソンと話そう!」

実は、今回のペーパーヴァイオリン作りのセッションに参加したある子どもの保護者が「息子には発達障害があるが、今回のワークショップは、とても楽しかったようです。母子家庭でヴァイオリンを習わせる余裕はないので、このような機会に参加できて感謝しています。」とのコメントを寄せてくれた。日本各地にいるであろう、困難な状況にある子ども一人ひとりに寄り添えるよう、最善を尽くしていかなければならないだろう。動き出したばかりの日本におけるエル・システマの活動が、今後ますます広がりをもせ、成果を上げていくことに期待している。

文:一般社団法人エル・システマ ジャパン 代表理事 菊川 穰



ワークショップ「12時間でシンフォニーの演奏に挑戦!」  
最終日、オケのリハーサルに参加  
「エル・システマ」創設者  
ホセ・アントニオ・アブレウ博士  
photo:Hikaru☆





VOICE.6 座談会 第2弾

野田秀樹×キャサリン・ハンター&グリーン・プリチャード&マルチェロ・マーニ

# からだと空間を使って演劇を創るということ

俳優は「首から上しか使わない」と揶揄されるほどせりふ主導の英国演劇界にあって、『THE BEE』のキャストは、いずれも身体表現に秀でた強者揃い。演劇の身体性はどのようにとらえられてきたのか。フィジカル・シアターの達人たちが本音で語ります。

photo:Dragos Dumitru

## ついに英国演劇も身体を意識し始めた

マルチェロ 伝統的にイギリスの演劇はせりふ中心だから、僕らのように、身体性を重視する演劇をやっている人間はめずらしいね。歌舞伎俳優は、身体的な準備が整っていないとできないでしょう。でも、ヨーロッパは違う。身体性は、必ずしも俳優に求められる資質ではないんだ。それでも、ここ20〜30年ほどは変化が見られて、ヨーロッパでも、俳優にもっと動くことを求めるようになってきているね。

キャサリン それはコンプリシテ(注1)の影響ね。コンプリシテが変えたのよ。

野田 僕は20年前にロンドンのナショナル・シアターでマリヴォーの『愛と偶然との戯れ』に出ているマルチェロを観て、コンプリシテに研修に行こうと思ったんだよ。

マルチェロ ヨーロッパでは、コンプリシテがルコック(注2)的(=身体表現重視)演劇の代表だからね。

野田 僕はたまたま20代の時に、ルコックと



KATHRYN HUNTER

は知らずにそのメソッドに出会っていたので、ロンドンでコンプリシテのワークショップに参加した時は、「あれ、これ知ってるぞ」と思った。その時に「ルコック」という人や学校の存在も認識したんだよね。

マルチェロ 今、なんとルコックの学生の3分の1は、イギリスから来ているんだよ。コンプリシテが演劇にムーブメントを取り入れるまでは、僕らのような身体を動かすタイプの俳優は、ただみつともなくて、かっこ悪くて、おっかない。まるで怪物みたいな扱われ方をしていたんだ。でも今は、イギリスでも秀樹がやっているように、テキストと身体の動きを一つのものとして考えるようになってきた。動きも演劇言語の一部とみなされて、やっと身体訓練の必要性を認識するようになってきたんだよ。まあ「頭ではそう考えるようになった」という次元で、実際に動いているかという、話は別かもしれないけど。特に英国演劇ではね。

キャサリン このごろイギリスの演出家は、「動け、動け!」と言うようになったわよ。

グリーン そうそう。

キャサリン 動きは演技と別物ではなくなってきたのは確かだね。

マルチェロ 稽古の時に、最初一緒にウォームアップで身体を動かすようになったしね。

キャサリン 動きを入れた方が芝居がおもしろくなる、ということには気づき始めた。でも、ほんとうは動きは物語そのものでもあるんだけど……。

野田 そこまでは思い至っていないんだね。

マルチェロ ロンドンのドンマー・ウェアハウスの『ウェルズのトレローニー』という作品で、



GLYN PRITCHARD

「振付」を依頼されたことがあったんだ。「長いジェスチャーを使った演技ができるように俳優を訓練してくれ」という注文だったんだけど、そのために時間が費やせたのは、稽古開始から一週間だけだった。その後も、僕は稽古場にはいたんだよ。でも演出にメソッドの一部として身体性が組み入れられたわけではないから、せいぜい稽古の合間に「こういうことはできる?」と俳優に訊いて回るくらいしかさせてもらえなかった。身体面への意識はあっても、実践するとなると習得には時間がかかる、ということもあるけれど。

キャサリン その点、グリーンは、ムーブメントに関しては天才よね。

グリーン 僕の受けた訓練は、とても伝統的な英国演劇のものだったけど、もともと身体を使って芝居するタイプで、つねに身体を通して役をつかもうとしてきたからね。それと何年も前に『フルムーン』という作品に出演した際、コンプリシテのメンバーのクライブ・メンドラスが演出家に連れてこられていて、そこで初めて、身体をどう使うか、ということを教

わったんだ。それ以来、コンプリシテには一目を置くようになったし、実際にこうしてマルチェロたちと一緒に仕事ができ、「ああ、こういうことだったんだな」と実感しているよ。

キャサリン 私にとってコンプリシテがもたらした革命は、ルコックのメソッドから、空間における言語を開発した、ということね。空間の中での演技や、空間の中でのモノの使い方など。それ以前は、みな心理の方にばかり意識が向いていて、空間における演劇言語なんて、存在しなかったもの。

マルチェロ キャサリンがいう「言語」とは、つまり「考え方」のことだよな。空間を使って何かをするという考え方で、具体的にどういうことをするかは、人によって違ってくる。

キャサリン そう。だから同じルコック出身でも、スティーブ・バーコフ(注3)とアリアヌ・ムヌーシュキン(注4)のやり方は、ぜんぜん違う。ルコックは模倣させるわけではないから、見た目が同じものになることはないのよね。

野田 もう一つ大切なのは、「FUN(楽しみ)」という要素だよな。楽しむことが大事だという考え方が、ルコックの根幹にはある。

マルチェロ ルコックの教えの中心にあるのは仮面なんだけど、まず基本は表情のないニュートラル・マスクで、これを着けて空間を動かす——つまり、心理的な感情を動きで表現してゆかなければならない。その後、悲劇や道化など4〜5種類の仮面を経験する中で、自分だけのクラウン(道化)を見つけていく。クラウンとは、自分自身をアイロニーを含んだまなざしで見ることができ存在のこと。シリアスな役をやる時にも、シリアスになり切ろうとする自分を、皮肉混じりに見つめる自分自身のクラウンがいなければいけない、ということなんだけど、わかるかな。



MARCELLO MAGNI

野田 それは能の「離見の見」だね。600年くらい前に能の大成者である世阿弥という人が言ったことなんだけど、役者は自分を見つめるもう一つの目を持たなければいけない、という意味の言葉だよ。

キャサリン 世阿弥ってすごいわね。もっと読まれるべきだよ。イギリスの本屋の演劇セクションに行っても、世阿弥の本は並んでいないもの。

グリーン ヒデキ・ノダの本は置かれてるよ(笑)。その世阿弥の言っていることは、演技の核心だよな。稽古というのは、真剣に役になり切ろうとするだけではなくて、いろんな事を楽しみながら試せる機会じゃなきゃいけないと思う。何が起き、何ができるかということ、を見つける場なんだから。



HIDEKI NODA

キャサリン 秀樹は、ストーリーやデザイン、それにゴムの使い方ひとつに至るまで、稽古場ではみんなでいろいろ試して、新しい方向性をオープンな雰囲気のまま決めていくわよね。

グリーン 演出家が一人だけ椅子に座って「それじゃダメ」「ああしろ」「こうしろ」と言う稽古場より、ずっと自由な感じがするよ(笑)。

マルチェロ コンプリシテの作品の創り方に似ているよ。秀樹が人々を引っ張ってまとめていくやり方は、とても弾力的。まずやってみて、そこで今、人々の間で何が起きているかをベースにしている。それに、みんなの話を非常によく聞くね。

野田 日本の場合は、議論をさせる時もあるけど、たいていは演出家が俳優の話を聞く前からすでに判断を下している。だから俳優も演出家の言葉待ちをして、おとなしくなりがちなんだよね。

マルチェロ 一部のイギリスの稽古場でも、特に主演俳優が、演出家のコンセプトを聞くまで意見を言わずに待つ、という傾向はあると思うけどな。そしてしばらく稽古を進めていくうちに、次第にその主演俳優がコメントをし始めるんだ。まるで演出家が行き詰まるのを待っていたかのように(笑)。

キャサリン ロイヤル・シェイクスピア・カンパニーでは、演出家は口先では民主的なことを言うけど、結局は何でも自分一人で決めたがる傾向があるわよ。

マルチェロ たいていの演出家は、自分で善し悪しの判断を下そうとするし、俳優もそれを待つものだよな。そういう僕も、今度日本で秀樹が書いた『障子の国のティンカーベル』の演出をするんだけど……。素晴らしい物語なので、戯曲に負けない舞台にしたいわ。

通訳:野田 学  
取材・構成:伊達なつめ

注1 コンプリシテ:1983年にパリのジャック・ルコック国際演劇学校出身のサイモン・マクバーニーやマルチェロ・マーニらが創立した演劇集団で、イギリスでは身体性を重視したいわゆる「フィジカル・シアター」のパイオニア的存在。後に「コンプリシテ」と改名して現在に至る。来日公演も数回行っているほか、『春琴』など日本との共同製作作品もある。

注2 ルコック:フランスの俳優でマイマーでもあったジャック・ルコック(1921—99)が1956年にパリで開校した、身体表現を中心とする俳優養成学校。コンプリシテのメンバーほか、太陽劇団のアリアヌ・ムヌーシュキンや『ライオン・キング』などの演出で知られるジュリー・テイモアなど、優れた演劇人を輩出している。

注3 スティーブ・バーコフ:イギリスの俳優・演出家・劇作家(1937〜)。最近の日本での演出作品に森山未來が主演した『変身』がある(2010年)。

注4 アリアヌ・ムヌーシュキン:太陽劇団を主宰するフランスの演出家(1939〜)。集団創造によりスペクタル性の強い、スケールの大きな作品を数多く発表。文楽の技法を取り入れた『堤防の上の鼓手』で来日公演も果たしている(2002年)。

## 今回のアイタイヒト

## KATHRYN HUNTER

キャサリン・ハンター 英国王立演劇アカデミー(RADA)で学び、コンプリシテなどのフィジカル・シアターからロイヤル・シェイクスピア・カンパニー(RSC)まで、さまざまなスタイルの演劇に、老若男女あらゆる役柄で登場して圧倒する、ユニークな名優。野田作品には『THE BEE』と『THE DIVER』で主演している。

## GLYN PRITCHARD

グリーン・プリチャード ロンドンのリージェントパーク・オープン・エア・シアターで初舞台を踏み、以後ロンドンのナショナルシアターやキャサリン・ハンター演出の『オセロ』(RSC)など、多くの舞台・映像で活躍している。フィジカル・シアター出身ではないが「振付」の身体能力を持ち、野田作品では『THE BEE』『THE DIVER』に出演。

## MARCELLO MAGNI

マルチェロ・マーニ パリのジャック・ルコック国際演劇学校で学び、サイモン・マクバーニーらとテアトル・ド・コンプリシテを設立。フィジカル・シアターの第一人者としてさまざまな舞台に出演するほか、演出家としても活躍。2014年2月に東京芸術劇場で『障子の国のティンカーベル』(野田秀樹作)を演出予定。野田作品は『赤鬼』英国版、『THE BEE』などに出演。

## 野田秀樹 HIDEKI NODA

のだ・ひでき 劇作家、演出家、役者。1955年、長崎県出身。大学在学中に劇団夢の遊戯社結成、一大ブームを巻き起こし92年に解散。ロンドン留学を経て93年、NODA・MAPを設立。国内のみならず海外でも積極的に作品を発表。09年、東京芸術劇場の芸術監督に就任。多摩美術大学造形表現学部映像演劇学科教授。

「障子の国のティンカーベル」 作:野田秀樹 演出:マルチェロ・マーニ  
2月13日(木)〜17日(月) 出演:嵯谷友子 ※17日(月)は追加公演  
2月20日(木)〜23日(日) 出演:奥村佳恵  
東京芸術劇場シアターイーストにて。 [www.geigeki.jp](http://www.geigeki.jp)



# アーツアカデミー 東京芸術劇場プロフェッショナル人材養成研修

2013年春から、東京芸術劇場では、  
アーツカウンシル東京が行う人材育成事業「アーツアカデミー」の一環として、スタッフ向けの研修事業を開始しました。  
将来、公立文化施設やアートNPO等で活躍する志をもつ若手制作者・舞台技術者を研修生として受入れています。

「人手が足りない」「人材不足」……公立文化施設の関係者が顔を合わせれば、必ずといっていいほどこの話題になります。一方で、劇場や音楽ホールに興味をもつ若者からは、「劇場での勤務経験がない人は、雇ってもらえない」「どうやったら劇場での仕事につけるか、わからない」という言葉が聞かれます。そんなミスマッチを解消するために、東京芸術劇場では、実務経験を積み、必要な知識を身につけるための研修を行っています。

2013年度は5月下旬～翌3月末までの長期コースで3名、約3か月の短期コースで3名と、計6名の研修生が参加しました。一般公募から選考を経て採用された研修生は、若手といえども精鋭ぞろい！制作は本人の志望により演劇または音楽、舞台技術は照明を専門にして、職員の指導を受けながら、芸劇の自主事業を中心に公演準備から本番までの業務を実際に行っています。プロのアーティストやスタッフの中で経験を積めるのは、現場で

ある劇場での研修ならではの。研修生にとっては緊張の連続かもしれませんが、実務力は確実に向上しています。

そして、ただ実務をこなすだけでなく、公共劇場で働く意味を考えるため、1人ひとりに合った課題が与えられ、月ごとにレポートを提出します。劇場内部にしながら外部の視点を保持できる研修生ならではの視点で、時には鋭い意見を繰り出し、芸劇にとっても良いフィードバックを得られる機会となっています。

また、研修生だけでなく、アーツマネジメントや舞台技術についての知識を広く共有するため、一般公開のレクチャー等も行っています。すでに終了した「非営利組織のマネジメント」3回シリーズは、公立文化施設をはじめとした機関のマネジメントを学べる講座として、好評をいただきました。これからも継続的に開催していきますので、たくさんの制作者、舞台技術者の皆様にご参加いただきたいと思います。

2014年度の研修生を募集します！ HP等で詳細を発表しますので、お見逃しなく。 [www.geigeki.jp](http://www.geigeki.jp)

“芸劇 BUZZ” 読者の皆様へ

ご意見を  
いただいた方の中から、  
抽選で5名様に  
プレゼント

オリジナル・フレーム切手  
東京芸術劇場 vol.II  
東京芸術劇場内郵便局にて  
発売中！ 1,200円  
(発売元：日本郵便株式会社)



## ♪ ご意見・ご感想をお送りください！ ♪

いつも東京芸術劇場・季刊広報誌“芸劇BUZZ”をお読みいただき、誠にありがとうございます。昨年9月のリニューアル・オープン以来、3か月ごとのイベントカレンダー・ページを含めた本誌を発行してまいりました。次号以降の編集をするにあたり、読者の皆様から、本誌へのご意見、ご感想などを広くお聞かせいただきたく、ここにご案内させていただきます。尚、応募して下さった皆様方から、抽選で5名様に、日本郵便株式会社から発売されている「オリジナル・フレーム切手 東京芸術劇場 vol.II」をプレゼントさせていただきます。応募要項は以下の通りです。

**応募要項：**普通ハガキに、東京芸術劇場・季刊広報誌“芸劇BUZZ”の①入手場所、及び②ご意見・ご感想を必ずお書きいただき、下記、応募先あてにご郵送ください。尚、郵送料(50円)はお客様ご自身のご負担とさせていただきます。 **プレゼントの抽選と発送：**プレゼントの当選は、商品の発送をもって代えさせていただきます。おハガキには、必ずお名前、お送り先住所及び郵便番号をお書き添えください。抽選は2月末に行い、3月中旬には、当選者にプレゼントを郵送にて発送させていただきます。尚、ご記入いただいた個人情報は、プレゼントの発送に限って利用させていただきます。 **応募先：**〒171-0021 東京都豊島区西池袋 1-8-1 東京芸術劇場「芸劇BUZZ」係 あて **応募締切：**2014年2月24日(月)消印有効 **お問い合わせ先：**東京芸術劇場 事業企画課 広報営業係 Tel. 03-5391-2117

## 東京芸術劇場ボックスオフィス チケット予約サービス一時休止のお知らせ

チケットリングシステムの保守作業に伴い、下記期間、チケット予約に関わる全サービスを一時休止させていただきます。お客様にはご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご了承ください。

**一時休止期間：**2014年2月24日(月)午前0:00～2月25日(火)午前9:59

※WEBでのご予約は、2月25日(火)午前10:00より、再開予定です。

※尚、窓口及びお電話でのご予約につきましては、2014年2月24日(月)・25日(火)は、全館休館日のため、お休みとなります。予めご了承ください。





# COVER PHOTO

作：野田秀樹 演出：マルチェロ・マーニ  
障子の国のティンカーベル

2月13日(木)～17日(月)、20日(木)～23日(日)  
東京芸術劇場シアターイースト

「障子の国のティンカーベル」

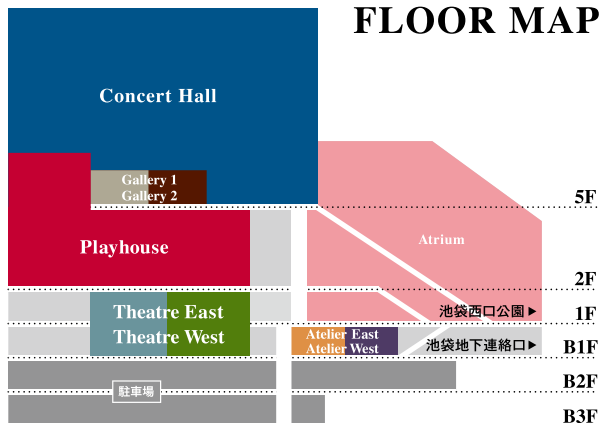
左から、奥村佳恵、マルチェロ・マーニ、穂谷友子  
写真：端 裕人

# 東京芸術劇場

Tokyo  
Metropolitan  
Theatre



## FLOOR MAP



### 1F 東京芸術劇場ボックスオフィス

(チケット・総合案内カウンター)  
| 予約 | 0570-010-296  
| お問合せ | (休館日を除く10:00～19:00)

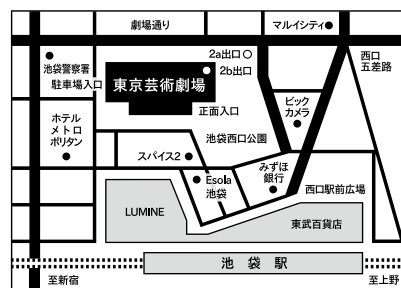
### 5F 芸劇キッズルーム ミューズ

(託児サービス)  
東京芸術劇場でご鑑賞のお客様に開演1時間前～  
終演後30分までお子様をお預かり致します。

| 利用料金 | 生後4ヶ月～1歳児：2,000円/  
2歳～6歳児：1,000円  
| お問合せ | 03-3981-7003

### B2F・B3F 東京芸術劇場駐車場

| 利用料金 | 300円/30分  
| 営業時間 | 7:00～24:00  
| お問合せ | 03-6914-0019



〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-8-1

| 開館時間 | 9:00～22:00 (休館日を除く)

| お問合せ | 03-5391-2111

JR、東京メトロ、東武東上線、西武池袋線池袋駅西口より  
徒歩2分。池袋駅地下通路の2b出口に直結しています。

〈東京芸術劇場パートナー企業・団体 ご芳名〉 東京芸術劇場の年間運営事業に賛同し、ご支援くださっている皆さまです。

アサヒグループホールディングス株式会社

株式会社 資生堂

明光義塾

凸版印刷三幸会

レンゴー株式会社

東京地下鉄株式会社

株式会社 JTBコーポレートセールス

立教大学

丸茂電機株式会社

トヨタ自動車株式会社

西池袋熱供給株式会社

住友生命保険相互会社

三精輸送機株式会社

株式会社 松田平田設計

ホテルメトロポリタン

早稲田塾

株式会社フジテレビジョン

株式会社 WOWOW

東京臨海熱供給株式会社

株式会社 東京ビッグサイト

ソニー銀行株式会社

キヤノン株式会社

ヤマハサウンドシステム株式会社

株式会社 TBSテレビ

株式会社 松村電機製作所

渡邊建設株式会社

香山壽夫建築研究所

(2013年12月1日現在)